



平成 2 4 年 度 版

# 札 幌 の 観 光

TOURISM OF SAPPORO

札 幌 市





## 目 次

<b>第 1 章 札幌市の観光への取り組み</b>	
1 平成 24 年度観光コンベンション部の事業概要	1
2 平成 24 年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数	11
3 平成 24 年度予算の概要	12
4 トピックス	13
<b>第 2 章 観光客の入り込み状況</b>	
1 平成 23 年度の動向	17
2 観光客の入り込み状況	18
<b>第 3 章 宿泊施設</b>	
1 宿泊調査の概要	26
2 宿泊施設の状況	27
3 宿泊施設利用状況	28
4 外国人の宿泊状況	31
5 修学旅行生の宿泊状況	35
6 定山溪地域の宿泊状況	37
<b>第 4 章 イベントとコンベンション</b>	
1 札幌でのイベント開催状況	41
2 札幌でのコンベンション開催状況	49
<b>第 5 章 参考資料</b>	
1 観光施設の利用状況	50
2 定期観光バス利用者数	52
3 北海道さっぽろ「食と観光」情報館・ 北海道さっぽろ観光案内所利用者数	53
4 札幌発着航空路線	54
5 気象概況	56
6 札幌観光のあゆみ	57
7 平成 24 年度イベントカレンダー	60



# 第1章 札幌市の観光への取り組み

## 1 平成24年度観光コンベンション部の事業概要

各事業の詳細については、【 】内に記載している各担当係までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課

電話 011-211-2376

### ○観光客の受け入れ環境整備事業

#### (1) 観光案内所の運営管理【観光誘致・受入担当】

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。常設の案内所のほか、観光シーズンやイベントに合わせて設置する案内所があります。

また、外国人来札客に対しての観光情報提供場所として、国際観光振興機構（日本政府観光局：JNTO）の指定による「ビジット・ジャパン案内所（V案内所）」があります。

#### 〔観光コンベンション部案内所一覧〕

名称	概要
北海道さっぽろ観光案内所 (V案内所)	所在地：中央区北6西4 JR札幌駅1階西側コンコース 定休日：年中無休 営業時間：8:30～20:00 電話番号：011-213-5088
カッコウの窓口 (V案内所)	所在地：中央区北1西2 北海道経済センタービル4階 札幌観光協会内 定休日：土日祝、年末年始 営業時間：8:45～17:15 電話番号：011-211-3341
大通公園観光案内所	所在地：中央区大通西3丁目 開設期間：春～秋季のみ 平成24年は4/27～10/31まで開設 定休日：開設期間中は無休 営業時間：9:30～17:30（4・5月、9・10月） 9:00～18:00（6～8月） 電話番号：なし
定山溪観光案内所	所在地：南区定山溪温泉東3丁目 定休日：年末年始 営業時間：9:00～17:00 電話番号：011-598-2012
札幌国際プラザ (V案内所)	所在地：中央区北1西3札幌MNビル3階 定休日：日祝、年末年始 営業時間：9:00～17:30 電話番号：011-211-3678
雪まつり観光案内所	所在地：中央区大通西6・9丁目 開設期間：雪まつり会期中のみ 平成25年は2/5～2/11まで開設予定 定休日：雪まつり会期中無休 営業時間：9:00～22:00 電話番号：なし

**(2) 観光マップ制作【観光誘致・受入担当】**

来札客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所等で配布しています。

**(3) 観光案内板の管理【庶務係】**

来札客の利便性を図るために、195 基の観光案内板を設置しています。表示言語は、日本語・英語・中国語（簡体字）・ハングルの4言語に加え、中国語（繁体字）の追記を順次行っており、外国人の来客にも対応しています。また、ピクトグラム（絵文字表記）などユニバーサルデザインを採用して利便性に配慮しています。

**(4) 都心部観光バス待機場の設置【観光誘致・受入担当】**

観光バスで訪れた観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車をしなくても済むように、札幌市と北海道バス協会が共同で観光バス専用の待機場を設置し、北海道バス協会が管理運営をしています。

観光バス待機場所在地：中央区北1条西9丁目〔平成23年度利用台数13,547台〕

**(5) 札幌まちめぐりパス事業への参画【観光誘致・受入担当】**

公共交通機関や観光施設等と連携し、共通のパスを発行することにより、札幌を訪れる観光客の市内周遊促進や経済を活性化させることを目的として実施している「札幌まちめぐりパス」の事業に参加しています。

**(6) ICTを活用した札幌まちめぐり事業【観光誘致・受入担当】（4 トピックス(p13)参照）**

札幌の魅力ある情報を観光客のニーズに応じてタイムリーに提供するため、スマートフォン（多機能携帯電話）やタブレットPC等に対応した観光アプリケーションソフトウェアを開発しました。観光情報の他、位置情報を利用して、目的地やユーザー周辺の情報を提供するなど、国内外の観光客の札幌滞在、周遊を促進します。

**○ホスピタリティ推進事業【観光誘致・受入担当】**

**(1) 観光ボランティアの運営**

市民による観光ボランティアが、大通公園観光案内所や北海道さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の案内所で、パンフレットの配布や観光スポットの紹介、写真撮影などの観光案内を行っています。地元住民ならではの意見が聞けるということで、観光客から好評を得ています。

登録数は171名（男65名・女106名）、平均年齢は59.4歳であり、活動は交代制となっています（平成24年7月現在）。

**(2) 市民と協働による観光リーフレットの多言語化**

ICTを活用した札幌まちめぐり事業との連携により、地元市民がおすすめるスポット等の情報を掲載した観光モデルコースの多言語化（平成24年度は5コース）を実施します。

**(3) 札幌おもてなし委員会**

まち全体のおもてなし向上を目指すため、観光関連団体（経済団体、観光関連事業者、都心部商店街、市民ボランティア、行政など）と連携・協力して立ち上げた、官民合同の組織である「札幌おもてなし委員会」の事務局を担っています。大規模コンベンション等での統一感のあるおもてなし、観光関連事業者の情報共有・ネットワーク化を行い、おもてなしのレベルアップを図っていきます。

## ○観光情報の発信

### (1) ホームページの運営管理

#### ア) 観光情報サイト「ようこそさっぽろ」の運営管理【企画調整担当】

札幌市の観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトは、交通機関や観光施設等の基本情報のほか、イベントなど季節限定の情報を紹介。また、「その道の達人」が書く記事を月に数回更新するなど、定番から旬のものまでバラエティに富んだ観光情報を提供しています。日本語のほか、英語・中国語（簡体字・繁体字）・ハングル版があります。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

#### イ) リアルタイム情報発信システム運営【観光誘致・受入担当】

市内で行われる様々な観光・文化事業の情報を集約し、季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設の運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）などのリアルタイム情報とあわせて、市民へわかりやすく提供する「観光文化情報ステーション」を運営しています（観光文化局文化部に予算を委託し運営）。

なお、観光文化情報ステーションは以下のホームページでも情報発信を行っています。

観光文化情報ステーション

所在地：地下鉄南北線「大通駅」地下コンコース北改札口横

定休日：年末年始（12/29～1/3）

営業時間：10：00～20：00

URL <http://www.sapporo-info.com/index.php>

携帯電話用 URL <http://www.sapporo-info.com/m/>

QRコード⇒



### (2) 観光メールマガジンの配信【企画調整担当】

札幌観光の旬の魅力を広く発信するため、首都圏をはじめとする旅行会社の方々や、観光関連会社の方々、市内外の一般の方々などを対象に観光メールマガジンを配信しています。このメールマガジンでは、魅力が読者により伝わるよう、観光コンベンション部職員が実際に体験取材を行っています。

メールマガジンの配信は、下記のホームページから申し込むことができます。

[平成 24 年 9 月現在の配信登録数 約 1,900]

札幌の観光行政(メールマガジン配信申込・バックナンバー紹介)

[http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mail\\_magazine/mail\\_magazine.html](http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mail_magazine/mail_magazine.html)

### (3) 観光情報共有メーリングリストの管理運営【企画調整担当】

季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）、各種イベント情報等の観光関連情報を、観光案内所や市内ホテル関係者等で共有するためのメーリングリスト「観光情報ネット」を運営しています。

### (4) 観光写真ライブラリー【企画調整担当】

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行う際に必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、ホームページで無料ダウンロードサービスを行っています。[平成 24 年 9 月現在 約 2,000 枚保有]

観光写真ライブラリー

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/photolibrary/>

**(5) Twitter (ツイッター)【企画調整担当】**

Twitterにおいて「札幌市観光コンベンション部」の名前でアカウントを設けており、イベントの告知をはじめとした観光情報の発信を行っています。

〔平成24年9月現在のフォロワー数 約7,400〕

札幌市観光コンベンション部@Sapporo\_tourism(Twitter アカウント)

[http://twitter.com/Sapporo\\_tourism](http://twitter.com/Sapporo_tourism)

**(6) Facebook (フェイスブック)【企画調整担当】**

Facebookにおいて、日本語版と英語版のアカウントを設けており、写真や観光情報等の発信を行っています。

ようこそさっぽろ～札幌市の観光案内(日本語版)

<http://www.facebook.com/sapporocity>

Welcome to Sapporo(英語版)

<http://www.facebook.com/SapporoNow>

**○藻岩山魅力アップ事業【企画調整担当】**

ロープウェイ、展望台などの藻岩山観光施設について、再整備を実施し、平成23年12月23日よりリニューアルオープンしました。車椅子の方などこれまで山頂展望台にいらることが難しかった方々も含めて、多くの方々にご利用いただいています。

平成24年度は、ロープウェイ山麓駅と水道記念館を結ぶ散策路の整備や、「もいわやまの日」など、多くの市民・観光客に、新しくなった藻岩山に親しんでいただけるような各種イベントの充実を図っていきます。

**○国内外へ向けた観光プロモーション事業**

**(1) 国内プロモーション事業【観光振興担当】**

国内旅行は、個人手配やフリープランなど個人旅行の需要が多くなっています。札幌市では、より多くの一般消費者に直接的または間接的に札幌観光の魅力伝え、来札意欲を喚起させることが特に重要と考え、各種プロモーション事業を展開していきます。

また、実施にあたっては、より効果的に事業展開が図られるよう観光関連事業者との連携を積極的に進めていきます。

**ア) さっぽろフォトコンテスト2012(4 トピックス(p14)参照)**

携帯電話カメラの高性能化や、多種多様なデジタルカメラの登場により、幅広い層に写真撮影が親しまれるようになってきていることから、より札幌観光を楽しんでもらい、併せて札幌観光の魅力を発信するための仕掛けとして、さっぽろフォトコンテストを実施します。

**イ) 現地プロモーション**

各地の市民イベントや物産展等に出展し、直接一般消費者に札幌観光の魅力を発信するプロモーションを実施します。

24年度実施予定地：東京、神戸、松本などの就航都市

**ウ) 冬の観光プロモーション**

「さっぽろ雪まつり」を中心とする冬の札幌観光の魅力を発信するプロモーションを首都圏において実施します。

**エ) 道内向けプロモーション**

企業等の協力を得て、交通機関や商業施設など多くの人の目に触れる場所に、札幌の観光情報を題材としたポスターを掲出します。

## (2) 国際プロモーション事業【観光誘致・受入担当】

東日本大震災の影響により激減した外国人観光客は、平成 23 年度下半期に限れば、台湾は 4 割程度の増加、中国・香港はほぼ前年並みとなり、回復を見せていますが、上半期の減少を挽回するには至りませんでした。韓国・東南アジアについては、原発事故による放射能被害の懸念や為替レート等の影響から、回復の度合いが遅れています。

札幌市では、海外からの観光客の回復と増加に向け、現地での観光プロモーション、国際旅行博覧会出展、招請事業など、札幌の観光情報の提供や、魅力の発信に努めている他、海外からの観光客のため、外国語版の観光マップを作成しています。

札幌の魅力を発信する PR 事業を展開することにより、一般市民の旅行意欲を喚起し、旅行会社に商品造成を促します。

### ア) 現地プロモーション事業

現地の旅行会社を対象に、観光 PR や商談会を行うことで、札幌の魅力を伝え、旅行商品の造成を促します。また現地のイベントや物産展とタイアップし、一般市民に向けて直接 PR を行うことで、旅行意欲を喚起します。

24 年度実施予定地：北京・瀋陽（中国）、香港

### イ) 国際旅行博覧会出展事業

旅行関係者や、旅行に関心の高い一般市民が集まる場で、観光 PR や情報提供を行うことにより誘客につなげると同時に、来場者からの聞き取りによる市場調査を行います。

24 年度出展予定：北京旅遊博（中国）、タイ旅行フェア（タイ）、MATTA Fair（マレーシア）、トラベルマート 2012（日本）等

### ウ) 招請事業

TV 局、旅行雑誌等のメディアや、旅行会社等の関係者を招請して札幌の魅力を実際に体験してもらい、自国に伝えてもらうことで旅行意欲の喚起や、旅行商品の造成を促します。

24 年度実施予定：中国、韓国、タイ、香港、台湾、シンガポール

### エ) 観光マップ制作

海外からの観光客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した、外国語版「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所にて配布しています。

制作言語：英語、中国語（簡体字・繁体字）及びハングル

## ○MICE 誘致・支援事業【観光誘致・受入担当】

MICE（マイス＝**M**eeting、**I**ncentive travel、**C**onvention、**E**vent/Exhibition）は、高い経済効果をもたらすだけでなく、経済情勢による影響や季節による変動が小さいという特徴があります。また、世界へ向けた PR 効果が高く観光目的としての再訪問を見込めたり、受け入れ施設のレベルアップにもつながるなど波及的な効果も大きく、集客交流産業の活性化に寄与するものです。

札幌市では、MICE を巡る都市間競争に打ち勝つため、平成 22 年 11 月に策定した「札幌 MICE 総合戦略」に基づき、産業界や大学、市民との連携や海外とのネットワークを生かして、MICE によるさらなる集客を目指していきます。

札幌市の MICE の推進にあたっては、公益財団法人札幌国際プラザコンベンションビューローがワンストップサービス機能を担い、MICE 開催におけるコーディネートや受入の支援、首都圏における情報収集と誘致活動を行っているほか、コンベンションの運営費用

にかかる助成金制度を運用しています。

また、MICE 推進に係る事業を行うにあたり、官民の連携をより強化するため、「さっぽろ MICE 推進委員会」を設置し、中国市場へのマーケティング強化、韓国大田マーケティング公社との連携による共同誘致や、MICE 見本市への出展、キーパーソンの招請など、戦略的な取り組みを行っています。

## ○PR ツールの制作、配布・貸出【観光振興担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

### (1) 観光PR用DVD・映像ライブラリー素材

本市では、観光PR用のDVDを制作しており、様々なPRの機会をとらえて放映や配布を行っています。また、制作時に撮影した映像の一部をライブラリーとし、DVDとともに広く貸し出しています。

貸出物の名称	言語	メディア	備考
「CINEMATIC CITY SAPPORO」	日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語	DVD	初版：平成23年度 改訂：平成24年度
「CINEMATIC CITY SAPPORO」 映像ライブラリー素材		DVD[MPEG-2]	解像度 720×480
		テープ[HD-CAM]	解像度 1440×1080

インターネット上でも閲覧できます。

ようこそさっぽろ内の「CINEMATIC CITY SAPPORO」のページ

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/movies>

### (2) 観光PRリーフレット・ポスター

本市では、さまざまな機会をとらえた幅広いプロモーション活動を行うため、観光PRリーフレットとポスターを制作しています。制作したリーフレットやポスターは、全国各地で行われる物産展や各種イベント等で配布、掲出していきます。

## ○来札観光客の動向調査・分析、結果についての情報提供【企画調整担当】

### (1) 来札観光客数、外国人宿泊者数の調査(4トピックス(p15)参照)

札幌市への来札観光客の入り込み数や宿泊施設の利用状況などの調査を行い、本書「札幌の観光」やインターネットで公開しています。

札幌の観光行政(観光統計データ)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

### (2) 来札観光客動態調査

来札観光客の動態を明らかにし、今後の観光行政に活用することを目的に、以下の調査を実施しています。

なお、過去の調査結果はホームページで公開しています。

札幌の観光行政(計画・調査レポート)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

#### ア) 来札観光客満足度調査

道外からの観光客を対象に、来札観光の満足度、観光消費額、宿泊日数、再訪意向などに関するアンケート調査を実施しています。

[平成22年度 来札観光客の札幌観光に対する総合満足度：94.7%]

#### イ) 外国人観光客動態調査

香港、台湾、中国、韓国など外国人観光客を対象に、市内での観光行動や満足度

などに関するアンケート調査を実施しています。

〔平成 22 年度 外国人観光客の札幌観光に対する総合満足度：95.4%〕

### ○（仮称）札幌市観光まちづくりプランの策定【企画調整担当】

札幌市では、観光を通じた豊かなまちづくりを進めるため、「（仮称）札幌市観光まちづくりプラン」を策定します。

平成 23 年度は、学識者、業界団体、市民公募委員などで構成する「札幌市観光振興プラン検討会議」を設置して、今後の方向性や取り組むべき施策などについて、具体的な検討を行いました。

札幌は、今や世界的なブランドとなっている北海道の食材が集中しているほか、便利な都会でありながらも市内・近隣には豊かな自然に恵まれており、四季に応じた美しい景色や、雪まつりのような独自色溢れるイベントを楽しむことができます。これらはほんの一例であり、札幌の魅力は他に例を見ないほど多岐に渡っていますが、札幌市民が楽しんでいる魅力の全てを観光で訪れた方が楽しんでいるわけではありません。今後は、札幌がもつ多種多様な魅力を最大限に生かすことで、札幌ならではの観光スタイル「さっぽろツーリズム」を確立し、何度でも行きたい「まち」となることで、集客交流をより一層促進していきます。

さらには、魅力を活かした集客交流により、まちに活力がもたらされ、市内消費の拡大が期待できます。その結果、魅力豊かなまちづくりがさらに進んでいく、という発展的な循環構造の確立を目指していきます。

現在、札幌市の最高位の計画となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の内容との整合性を図るべく調整を進めており、平成 24 年度中の策定を予定しています。

### ○定山溪地区の観光振興

#### （1）定山溪観光客誘致関連【観光振興担当】

地域が実施するイベントやプロモーションなど来客誘致強化や受入体制の充実を目的とした事業への支援を行います。また、エリアの特徴や魅力を活かし、集客が落ち込む夏期を中心として地域の活性化に向けた事業を行います。

#### （2）定山溪地区整備促進事業【企画調整担当】

定山溪地区の観光資源としての魅力向上を目指し、エリア全体としての総合的な再整備に向けた構想策定を行います。

平成 24 年度は今後の方向性を検討するための基礎的なデータを取るため、訪れた方・訪れなかった方へのアンケート調査を実施します。

### ○北海道内の魅力を活かした広域連携による周遊、滞在の促進【観光振興担当】

札幌市の周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした滞在型観光の促進や、道内中核都市間において道民の域内交流を図るなど、北海道の広域的な魅力を活かすために自治体間において連携した取り組みを行っていきます。

#### （1）札幌広域圏組合

札幌広域圏組合は、広域的な地域振興を図ることを目的に、札幌近郊 8 市町村から構成されている特別地方公共団体です。圏域交流や圏域振興については近郊市町村と密度の濃い連携のもと、互いに無いものを補いながら、「点」としてではなく「面」として札幌圏を PR し、札幌圏への誘客を目指しています。また、同じ圏域を有する観光圏整備事業とも連携し、共通の取り組みとして協働で進めています。

主な事業としては、札幌近郊の観光資源を活用し、地域の創意工夫に満ちた「地域旅」

を造成するためのワークショップ等の取り組みに対する支援や、積極的な首都圏でのPR活動、圏域の景色や体験、食など様々な観光資源を紹介したブログサイトの開設などの事業があります。

## (2) 道内中核都市観光連携協議会

北海道内の中核都市(函館市・旭川市・釧路市・帯広市・北見市・札幌市)による「道内中核都市観光連携協議会」を平成23年4月に立ち上げました。今年度は、域内交流を目的とした「道内中核都市周遊促進事業」(中核6都市の観光施設を巡るスタンプラリーの実施)をはじめ、北海道さっぽろ「食と観光」情報館イベントスペースにおいてポスター及びパンフレットの掲出などを行います。

## (3) さっぽろ広域観光圏推進協議会

札幌市中心部などの都市としての魅力と周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした札幌圏での2泊3日以上滞り型観光を促進するため、周辺市町村や民間事業者と連携して「さっぽろ広域観光圏」を整備しました。「さっぽろ広域観光圏」では、少ない移動時間で都会と自然の両方を満喫できることをメリットとして各種事業を展開しています。平成24年度は、モニターツアーを実施するほか、集客促進用フリーマガジン(夏、秋、冬号)を制作し首都圏等への配布や、札幌市に宿泊した方向けの周遊促進マップを制作し宿泊者の圏域内周遊を促すキャンペーンを実施するなど、圏域の魅力アップと滞在促進を図っていきます。

**観光圏**：観光圏とは、観光庁が観光圏整備法に基づいて実施している事業です。観光圏に認定されることによって、ホテル・旅館による旅行業者代理業の特例措置などのメリットがあります。

## ○新たな観光魅力づくり、観光資源の開発【観光振興担当】

観光客の札幌市での滞在をより充実させることを目的に、各関係団体とも連携のうえ、札幌の新たな観光魅力づくり、観光資源の開発を行っています。

### (1) 札幌シティ・リゾートウエディング(4トピックス(p13)参照)

挙式を兼ねた旅行の誘致も視野に入れながら、香港からのフォトウエディング(結婚記念写真旅行)を誘客するための現地PRや誘客促進キャンペーンを行います。

札幌ロケーションフォト・ウエディングガイドURL

<http://sapporo-crw-photo.jp/>

札幌ロケーションフォト・ウエディング協議会フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/SapporoLocationphotoWedding.fan>

### (2) さっぽろスイーツ

平成17年度に設立された「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」を中心に、北海道産の優れた機能性食材を生かしたスイーツの開発や、国内外へのPR活動など様々な事業を展開しています。

## ○各種まつりの企画実施【事業担当】(第4章1札幌でのイベント開催状況(p41~48)参照)

### (1) さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和34年に第1回が開かれ平成24年で54回を迎えました。

### (2) さっぽろ夏まつり

昭和29年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成24年で59回を迎えました。イベントの中心となっているのがさっぽろ大通ビアガーデンと北海盆踊りで、都市公園

で4大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

### (3) さっぽろオータムフェスト

平成20年度から、札幌の新たな秋のイベントとして開催。平成24年で5回目の開催となります。「北海道・札幌の食」をメインテーマとして、道内各地の旬の食材、ご当地グルメやラーメン、道産のお酒などを提供します。

### (4) さっぽろ菊まつり

昭和38年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成24年で50回を迎えます。平成23年の第49回からは、同年開通した札幌駅前通地下広場に会場を移しました。

### (5) さっぽろ雪まつり

昭和25年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成25年で64回を迎えます。約250基の雪氷像が7日間にわたり市民や観光客を楽しませます。

## ○各種まつりの連絡調整【事業担当】

### (1) YOSAKOIソーラン祭り（第4章1札幌でのイベント開催状況(p42)参照）

平成4年に始まったこの祭りも平成24年で21回を迎え、約200万人の来場者が訪れる札幌の初夏を彩る一大イベントに成長しました。

### (2) さっぽろホワイトイルミネーション（第4章1札幌でのイベント開催状況(p47)参照）

昭和56年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成24年で32回を迎えます。会場は大通公園、駅前通り及び南一条通りで、総数40万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。

### (3) ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo

平成14年にミュンヘン市との姉妹提携30周年を記念し開催されました。会場は大通西2丁目で、ドイツのクリスマス市にちなんだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

## ○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【庶務係】

国際会議や各種学会等の大規模な会議に対応できる大型コンベンション施設を設置しています。

### 〔札幌コンベンションセンター〕

所在地	白石区東札幌6条1丁目
電話番号	011-817-1010
開設年月	平成15年6月
構造／延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階地上3階／20,309.90㎡
開館時間	午前9時から午後10時まで（休館日 12月29日から翌年1月3日）
管理運営	SORA-SCC共同事業体（指定管理者）
主要施設	大ホール（シアター形式2,500人収容）、特別会議室（シアター形式700人収容） 中ホール（シアター形式600人収容）、小ホール（固定席193人収容） 会議室（15室）、野外展示場、駐車場（475台収容）
敷地面積	41,018.51㎡
(URL)	<a href="http://www.sora-scc.jp/">http://www.sora-scc.jp/</a>

## ○札幌国際ユースホステルの運営管理【庶務係】

来札幌観光客に低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

### 〔札幌国際ユースホステル〕

所在地	豊平区豊平6条6丁目5番35号
電話番号	011-825-3120
開設年月	平成12年4月
構造／延床面積	鉄筋コンクリート造 地下1階付4階建／1,967.64㎡
定員／利用期間	120人／通年
管理運営	一般財団法人北海道ユースホステル協会（指定管理者）
宿泊料金等	宿泊3,800円（中学生以下3,300円、4歳未満無料）（冷暖房、シーツ料、税込）食事（朝食630円）
敷地面積	918.93㎡

(URL) <http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/>

## 2 平成 24 年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長	観光コンベンション部長	観光企画課長	庶務係長	3名
			企画調整担当係長	2名
		観光PR・イベント担当課長	観光振興担当係長	2名
			主査（調整）	
			事業担当係長	2名
			シティPR担当係長 （総務局東京事務所シティセールス担当係長兼務）	
	MICE推進担当課長	観光誘致・受入担当係長	4名	
定山溪地区担当課長 （南区定山溪出張所長兼務）	定山溪地区担当係長 （南区定山溪出張所次長兼務）			
	部長職 （札幌振興公社派遣）			
		課長職 （札幌観光協会派遣）		
1名	2名	5名	8名	13名
合計職員数 29名				

### 3 平成 24 年度予算の概要

## 《平成 24 年度観光コンベンション部 予算の概要》

**予算総額 762,033 千円（対前年度当初予算比 31.7%の減）**

### 観光振興費

・観光企画宣伝費	35,742 千円	事務経費
・観光案内所運営費	53,948 千円	札幌駅・定山溪・大通公園の観光案内所の運営
・観光施設運営管理費	37,219 千円	コンベンションセンター・定山溪観光施設等の維持管理
・観光情報ポータルサイト運営費	12,107 千円	観光情報サイト「ようこそさっぽろ」運営

### 観光行事等助成費

・観光行事等助成費	151,820 千円	各種まつり・札幌観光協会等への補助
-----------	------------	-------------------

### 集客交流促進費

・国内観光振興事業費	23,300 千円	集客プロモーション・首都圏での集客イベント等の実施
・国際観光促進事業費	19,100 千円	アジアを中心とした海外からの観光客誘致の実施
・観光マップ制作事業費	4,250 千円	札幌の観光マップ日本語版の制作
・観光活性化基礎調査費	8,415 千円	観光客満足度調査・外国人観光客動態調査等
・おもてなし推進事業費	24,379 千円	市民・企業・行政の協働による受入環境整備等
・広域連携による観光振興事業費	4,020 千円	さっぽろ広域観光圏等による周遊事業の展開
・シティリゾートウェディング推進事業費	11,202 千円	フォトウェディング誘致・満足度調査等の実施
・ICTを活用した札幌まちなめぐり事業費	39,846 千円	携帯端末等による情報提供のためのシステム構築

### 都市魅力向上費

・雪まつり大通会場雪像制作費	53,437 千円	雪まつり大通会場における大雪像制作
・さっぽろ雪まつり魅力アップ事業費	128,900 千円	つどーむ会場でのイベント実施や新たな魅力創出
・定山溪地区整備促進事業費	22,161 千円	再整備構想策定に向けた調査・事業の実施
・藻岩山魅力アップ事業費	15,851 千円	藻岩山施設の運営管理・各種ソフト事業の実施
・さっぽろオータムフェスト事業費	29,500 千円	北海道・札幌の食をテーマにしたイベントの開催

### コンベンション推進費

・コンベンションビューロー運営費補助金	44,665 千円	コンベンションビューローの実施事業に対する補助
・コンベンション誘致促進補助金	10,000 千円	コンベンション誘致促進のための開催費補助
・MICE 推進事業費	32,171 千円	MICE 誘致に係る事業の実施

## 4 トピックス

### ○札幌市公式観光スマートフォンアプリ『札幌いんふお』をリリース

近年、旅行形態が団体旅行から個人旅行へ移行しつつあり、旅行者が自分の嗜好に合った訪問地を自ら探して訪れるケースが多くなってきています。また、スマートフォンやタブレットと呼ばれる携帯端末が急速に普及してきており、外国人の携帯端末普及状況が半数以上となっていること（本市「平成 22 年度外国人個人観光客動態調査」より）などから、札幌市では携帯端末向けの観光アプリケーションを制作して、国内外の観光客に観光情報の提供を行うこととし、平成 24 年 9 月にリリースしました。

このアプリケーションは、画面の見やすさや、位置情報と連動したナビゲーション機能、リアルタイムの情報提供機能（Twitter や Facebook などとの連携）などが連動しており、使い勝手の良さに特徴があります。

旅行中の使用だけでなく、旅行前に旅行地を選ぶ際にも活用してもらうことを想定し、



観光マップや観光施設、観光モデルコースといった基本的な観光情報から、イベント、食、芸術文化、スポーツなど札幌の魅力を満載した内容としています。

また、収録している内容は今後も順次追加していきます。



公式サイト <http://www.hbc.co.jp/rocket/sapporoinfo/pc/index.html>

### ○シティ・リゾートウエディングの取り組み

香港、台湾、中国等においては、カップルが婚前に記念写真の撮影旅行を行うスタイルが一般的であることに着目し、香港等からのフォトウエディング（結婚記念写真旅行）の誘客を目指した取り組みを行っています。

札幌及び周辺地域が有する四季折々の自然や歴史的景観はこの撮影旅行に適していることから、新たな観光需要の掘り起こしと「札幌＝ウエディング」のブランドイメージの確立を目指します。



札幌市とウエディング関連の民間事業者が連携してこの取り組みを推進するために、平成 23 年 10 月に「札幌ロケーションフォト・ウエディング協議会」を設立しました。

平成 23 年 12 月には、香港のカップル 3 組 6 名をモニターとして札幌に招待し、札幌でのロケーションフォト・ウエディングを体験していただき、その様子を香港の雑誌メディアをはじめ、体験した本人たちが Facebook 等で友人・知人に紹介するなど、様々な方法で PR 活動を展開しています。

また、平成 24 年 2 月には、香港で開催された「66th Valentine's Wedding Service & Banquet EXPO」(ウエディング EXPO)に出展して、直接エンドユーザーにロケーションフォト・ウエディングの商品 PR を行い、知名度及び認知度の向上に取り組んでおります。

今後も、香港等で開催される「ウエディング EXPO」などの結婚関連イベントに民間事業者と連携しながら積極的に参加し、札幌のロケーションフォト・ウエディングのブランドイメージ確立に取り組み、将来的には挙式による誘客を目指します。

## ○フォトコンテストの開催

近年、携帯電話のカメラ機能の高性能化や多種多様なデジタルカメラが登場し、幅広い層に写真撮影が親しまれるようになってきました。そこで、写真撮影を通じ、札幌観光をより楽しんでもらうために「さっぽろフォトコンテスト」を開催し、平成 24 年 11 月 30 日まで作品を募集しています。

フォトコンテストは様々な媒体を活用して告知することで、広く札幌を露出させ旅行意欲を喚起させるとともに、対象エリアのさっぽろ広域観光圏が有する豊かな自然等をロケーションとした応募作品を通じて、これまで認知されていなかった光景や場面を発見し、新たな観光スポットとして見出すことも狙いとしています。

さらに、フォトコンテストの入賞作品は、PR ツールの制作や各地で行うプロモーション活動などで積極的に使用し、札幌の魅力発信に活かしていきます。



■第 1 期のグランプリ作品『夕陽と藻岩山ロープウェイ』

## ○震災後の観光客動向及び今後の展望

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、その後続いた福島第一原子力発電所事故の影響は大きく、平成23年度の来札観光客入込数は、前年度から3.5%減少し、1,216万5千人にまで落ち込みました。これは、過去最高の平成18年度との比較では2百万人もの減となります。また、外国人宿泊者数についても、前年度から3割減の42万9千人と大幅な減少となりました。

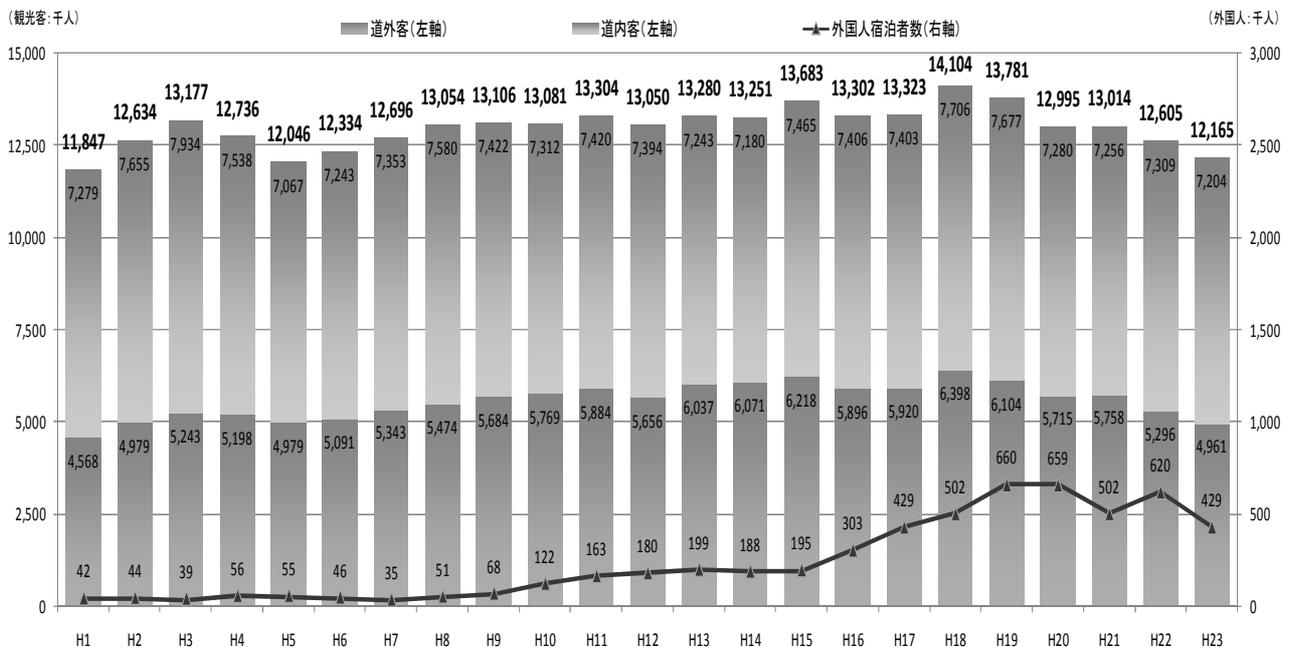
特に震災直後の落ち込みは大きく、札幌市では道民の道内観光を促進するキャンペーン、首都圏・関西圏におけるプロモーション活動、市長の中国訪問によるトップセールス、市内の留学生にTwitterやFacebookなどのソーシャルメディアで母国へ情報発信をしてもらう試みなど、国内外に向けて様々な取り組みを行いました。

特に台湾を巡っては、日本へ声援を送るべく台湾の行政院長が300人規模の訪問団を率いて札幌や釧路などを訪れたり、日本の特別天然記念物であるタンチョウが釧路市動物園から台北市立動物園に貸与され、これに合わせて北海道知事が訪台するなど、相互交流が活発となりました。このような動きを受け、台湾からの宿泊者数は、年度の後半では前年度比4割増となり、回復の先駆けとなっています。

一方で、国・地域によって動向は大きく異なり、韓国は円高・ウォン安等が重なり、落ち込みが続くなど、海外からの観光客の動向は先が読めない状況となっています。

国内を含めた今後の見通しとしては、今年は3月にピーチ・アビエーション、7月にジェットスター・ジャパン、8月にはエアアジア・ジャパンなど、LCC (Low Cost Career) と呼ばれる格安航空会社が相次いで新千歳に就航しており、新規の需要創出が期待されます。

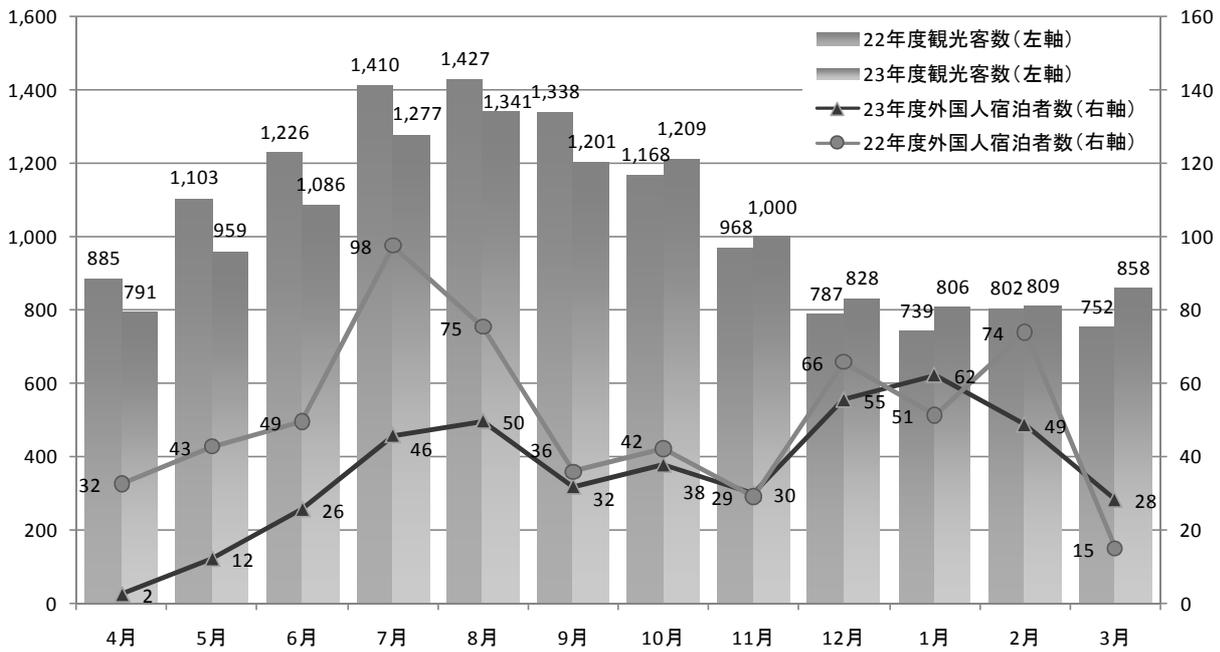
### ■ 来札観光客数及び外国人宿泊者数の推移



■ 来札観光客数及び外国人宿泊者数の月別推移

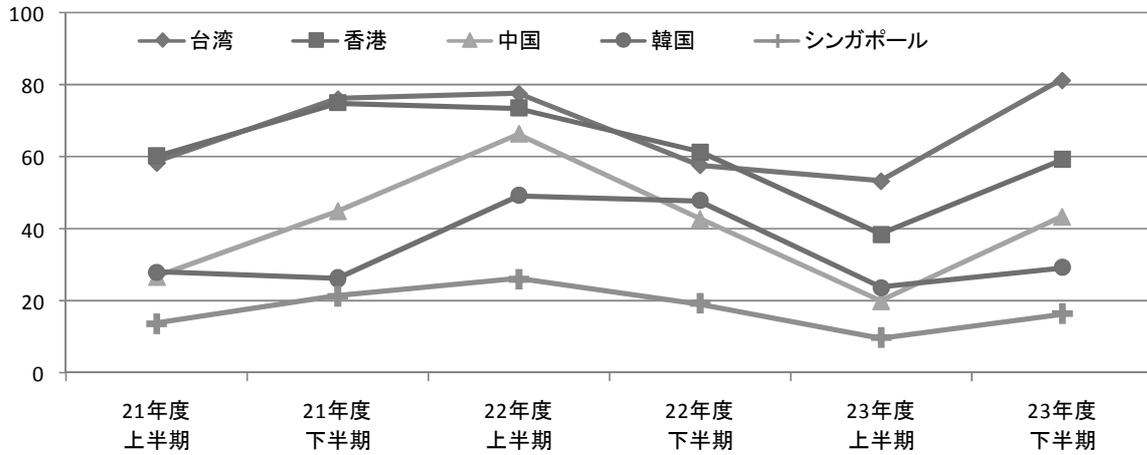
(観光客:千人)

(外国人:千人)



■ 外国人宿泊者数の半期毎の国別推移

(外国人:千人)



※上半期：4月～9月、下半期：10月～3月

## 第2章 観光客の入り込み状況

### 1 平成23年度の動向

#### (1) 概況

- ・ 平成23年度に札幌を訪れた観光客は1,216万5千人（前年度比3.5%減）。

主な特徴は以下のとおり

- 月別入り込み状況を前年度と比較すると、上期は前年度よりマイナスで推移していたが、下期は前年度よりプラスで推移した。特に3月は東日本大震災の影響で少なかった前年と比較すると14.1%の大幅増となった。
- 交通機関別入り込み状況を前年度と比較すると、JRによる入り込みが3.2%、路線バスによる入り込みが1.1%の増となる一方、貸切バスによる入り込みが22.6%、航空機による入り込みが6.2%、それぞれ減少した。なお、下期に限れば、いずれの交通機関でも増加している。
- 日帰り客・宿泊客別に見ると、日帰り客49.8%、宿泊客50.2%という構成割合となっている。前年度との比較では、日帰り客が5.9%、宿泊客が1.0%、それぞれ減少した。
- 道内客・道外客別に見ると、道内客が約6割を占めている。前年度との比較では、道内客が1.4%、道外客が6.3%、それぞれ減少した。

#### (2) 減少の要因など

- ・ 東日本大震災後の旅行自粛の動き等の影響が非常に大きかったものと考えられる。下半期は好調に推移したものの、上半期の減少を挽回するには至らなかった。

#### <来札観光客数の算出方法>

札幌市の観光客入り込み数は、交通機関の輸送実績を基に算出しています。具体的には、航空会社、鉄道、路線バス、貸切バスの輸送実績及び国道、高速道路の自動車通行台数に、「観光客率」（平成15～16年度にかけて行った「集客交流入り込み動態調査」により算出した交通機関の利用者数に占める観光客の割合）を乗じて算出しています。

なお、各数字は四捨五入のため合計が一致しないことがあります。

## 2 観光客の入り込み状況

### (1) 来札観光客数の推移

年 度	観光客数 (千人)	前年度比 (%)
平成 9 (1997) 年度	13,106	100.4
10 (1998) 年度	13,081	99.8
11 (1999) 年度	13,304	101.7
12 (2000) 年度	13,050	98.1
13 (2001) 年度	13,280	101.8
14 (2002) 年度	13,251	99.8
15 (2003) 年度	13,683	103.3
16 (2004) 年度	13,302	97.2
17 (2005) 年度	13,323	100.2
18 (2006) 年度	14,104	105.9
19 (2007) 年度	13,781	97.7
20 (2008) 年度	12,995	94.3
21 (2009) 年度	13,014	100.1
22 (2010) 年度	12,605	96.9
23 (2011) 年度	12,165	96.5

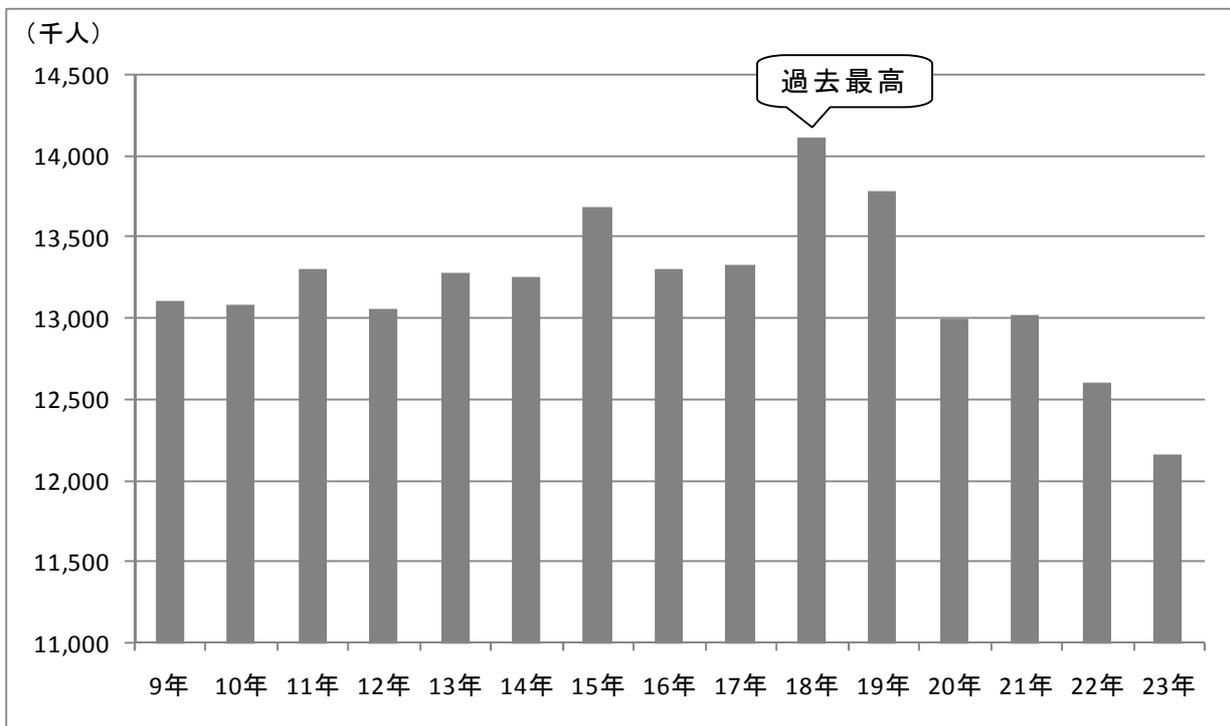


図 2-1 来札観光客数の推移

(2) 月別入り込み状況

(単位：千人)

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
19年度	13,781	919	1,154	1,310	1,452	1,460	1,390	1,327	1,098	918	878	928	947
20年度	12,995	933	1,134	1,260	1,393	1,404	1,337	1,199	1,014	829	812	826	854
21年度	13,014	879	1,084	1,205	1,409	1,456	1,402	1,224	1,013	825	803	861	853
22年度	12,605	885	1,103	1,226	1,410	1,427	1,338	1,168	968	787	739	802	752
23年度	12,165	791	959	1,086	1,277	1,341	1,201	1,209	1,000	828	806	809	858
前年度比 (%)	96.5	89.4	86.9	88.6	90.6	94.0	89.8	103.5	103.3	105.2	109.1	100.9	114.1

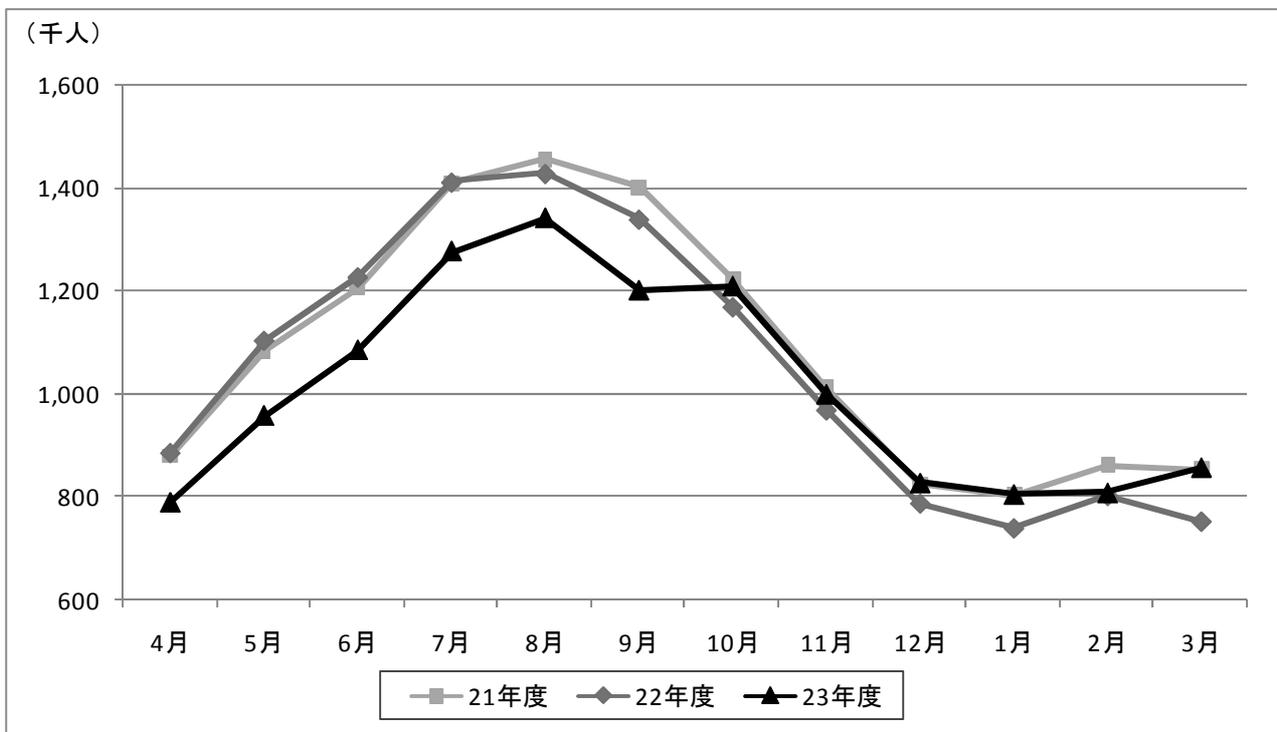


図 2-2 月別入り込み数推移

(3) 交通機関別入り込み状況

年 度	合 計	乗用車	J R	航空機	貸切バス	路線バス
観光客数 (千人)						
19年度	13,781	6,735	2,844	97	3,081	1,024
20年度	12,995	6,147	2,801	95	2,926	1,026
21年度	13,014	6,330	2,743	90	2,894	957
22年度	12,605	6,444	2,739	81	2,378	963
23年度	12,165	6,447	2,828	76	1,840	974
構 成 比 (%)						
19年度	100.0	48.9	20.6	0.7	22.4	7.4
20年度	100.0	47.3	21.6	0.7	22.5	7.9
21年度	100.0	48.6	21.1	0.7	22.2	7.4
22年度	100.0	51.1	21.7	0.6	18.9	7.6
23年度	100.0	53.0	23.2	0.6	15.1	8.0
前年度比 (%)						
19年度	97.7	100.0	99.1	95.1	93.3	93.7
20年度	94.3	91.3	98.5	97.9	95.0	100.2
21年度	100.1	103.0	97.9	94.7	98.9	93.3
22年度	96.9	101.8	99.9	90.0	82.2	100.6
23年度	96.5	100.0	103.2	93.8	77.4	101.1

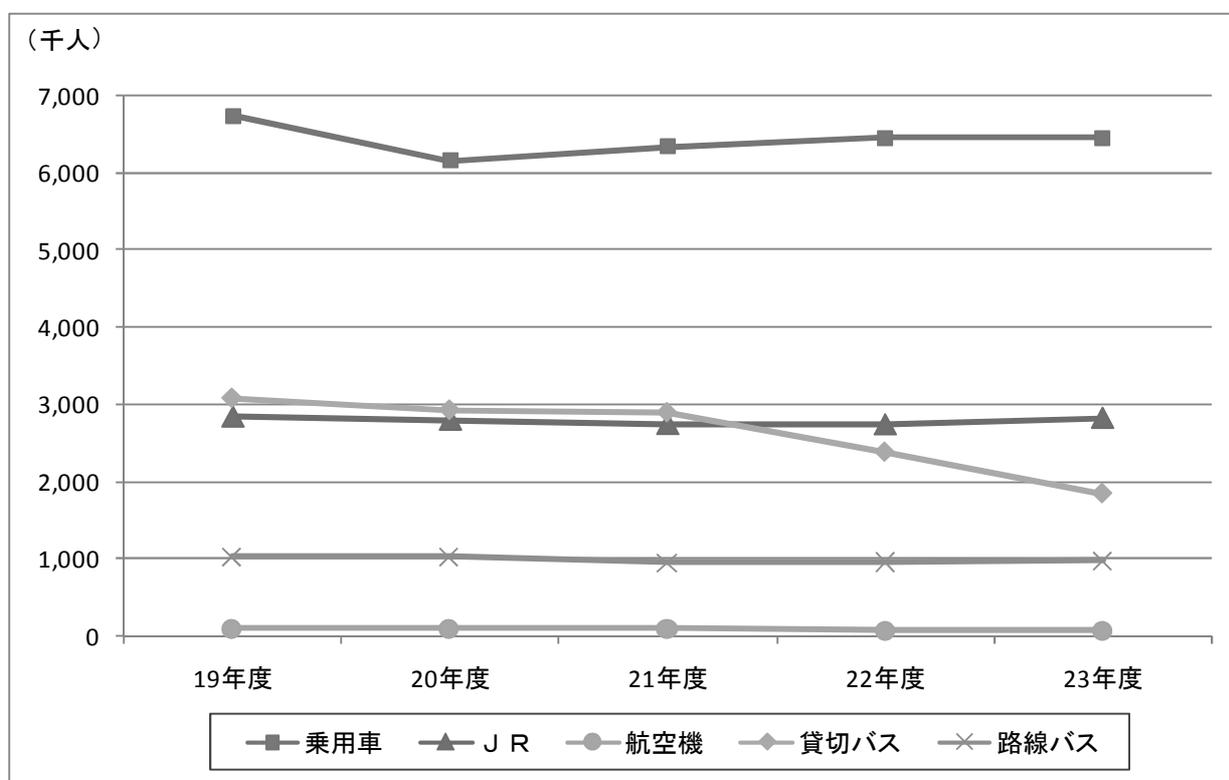


図 2-3 交通機関別入り込み数推移

【交通機関別入り込み数・月別内訳】

(単位：千人)

月	合計	乗用車	J R	航空機	貸切バス	路線バス
平成 23 年 4 月	791	478.2	159.7	6.2	53.2	93.7
5 月	959	550.2	170.3	8.5	129.2	100.4
6 月	1,086	563.4	220.5	7.1	207.8	87.5
7 月	1,277	686.6	304.8	5.1	197.8	82.7
8 月	1,341	740.1	329.0	5.9	175.8	90.6
9 月	1,201	617.5	272.5	6.7	220.8	83.3
10 月	1,209	668.5	238.9	7.4	214.6	79.8
11 月	1,000	571.9	231.8	5.9	113.7	76.8
12 月	828	395.0	238.3	5.7	118.6	70.0
平成 24 年 1 月	806	382.0	213.6	5.6	135.7	69.5
2 月	809	354.9	214.4	5.7	170.2	63.5
3 月	858	438.5	233.7	6.4	102.9	76.1
<b>年度計</b>	<b>12,165</b>	<b>6,447</b>	<b>2,828</b>	<b>76</b>	<b>1,840</b>	<b>974</b>

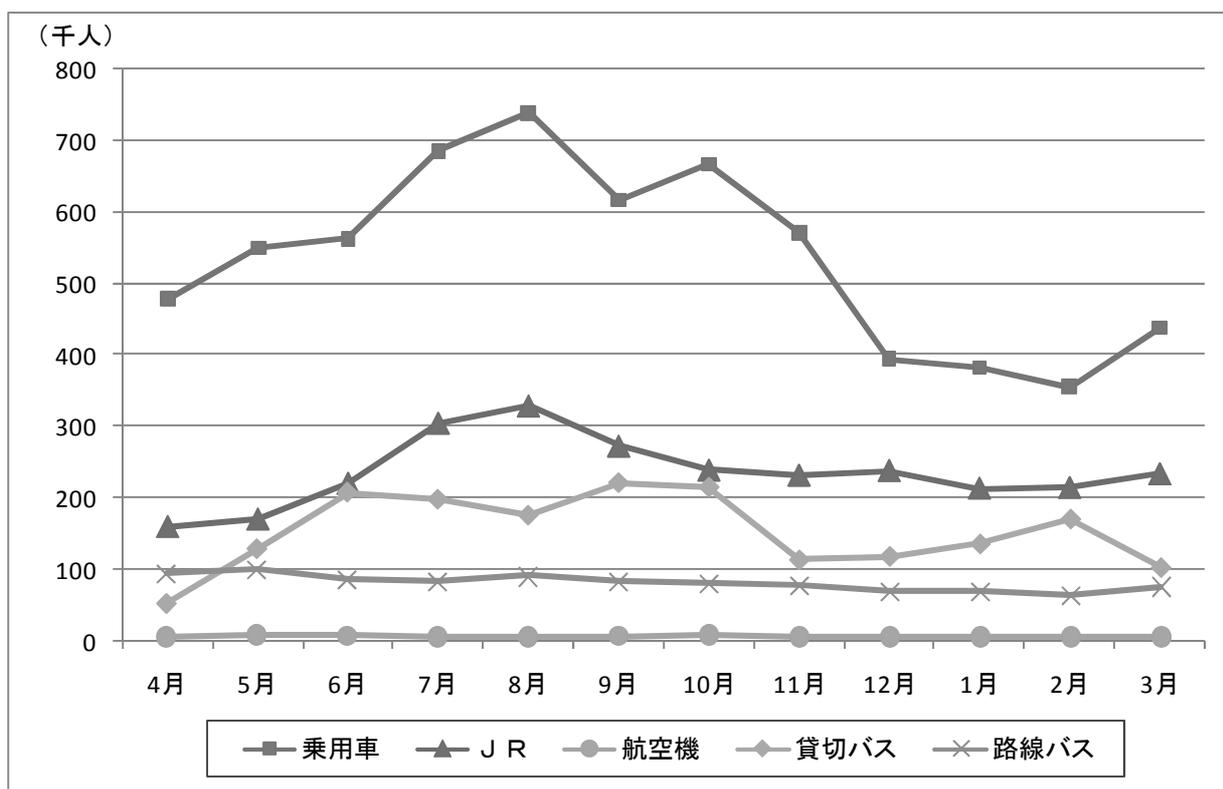


図 2-4 H 23 交通機関別入り込み数月別推移

(4) 日帰り客・宿泊客別入り込み状況

年 度	観光客数（千人）			構 成 比（％）			前年度比（％）		
	合計	日帰り客	宿泊客	合計	日帰り客	宿泊客	合計	日帰り客	宿泊客
19年度	13,781	7,303	6,478	100.0	53.0	47.0	97.7	104.5	91.0
20年度	12,995	6,459	6,536	100.0	49.7	50.3	94.3	88.4	100.9
21年度	13,014	6,630	6,384	100.0	50.9	49.1	100.1	102.6	97.7
22年度	12,605	6,432	6,173	100.0	51.0	49.0	96.9	97.0	96.7
23年度	12,165	6,053	6,112	100.0	49.8	50.2	96.5	94.1	99.0

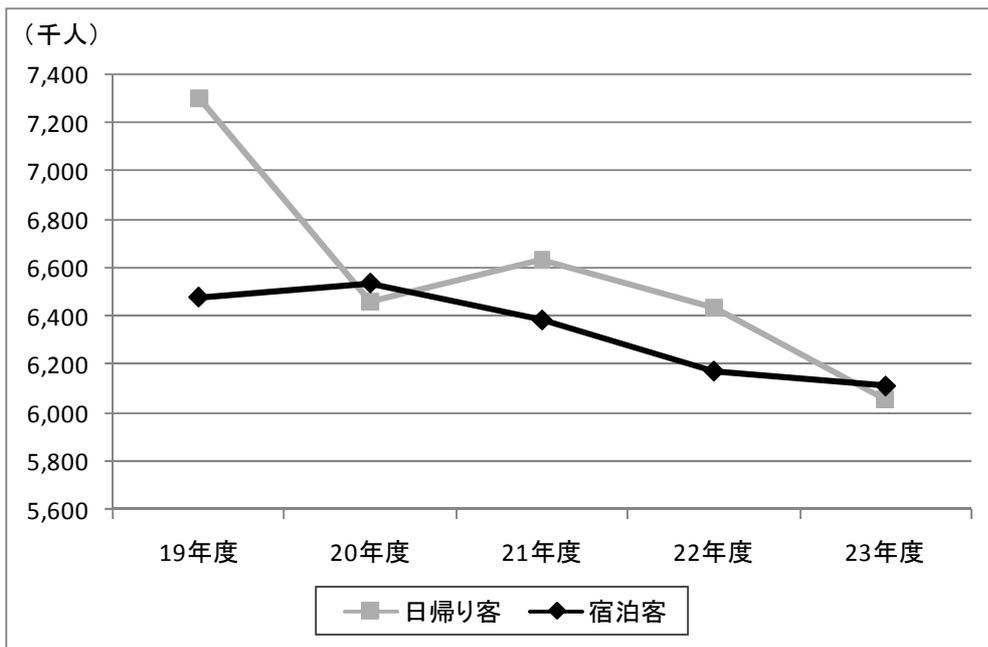


図 2-5 日帰り客・宿泊客別入り込み数推移

【日帰り客・宿泊客別入り込み数・月別内訳】

(単位：千人)

月	合計	日帰り客	宿泊客
平成23年4月	791	507.2	283.8
5月	959	520.6	438.0
6月	1,086	560.3	526.0
7月	1,277	605.2	671.8
8月	1,341	561.9	779.5
9月	1,201	532.1	668.7
10月	1,209	655.9	553.3
11月	1,000	587.7	412.4
12月	828	402.5	425.1
平成24年1月	806	377.3	429.1
2月	809	329.4	479.3
3月	858	412.4	445.2
<b>年度計</b>	<b>12,165</b>	<b>6,053</b>	<b>6,112</b>

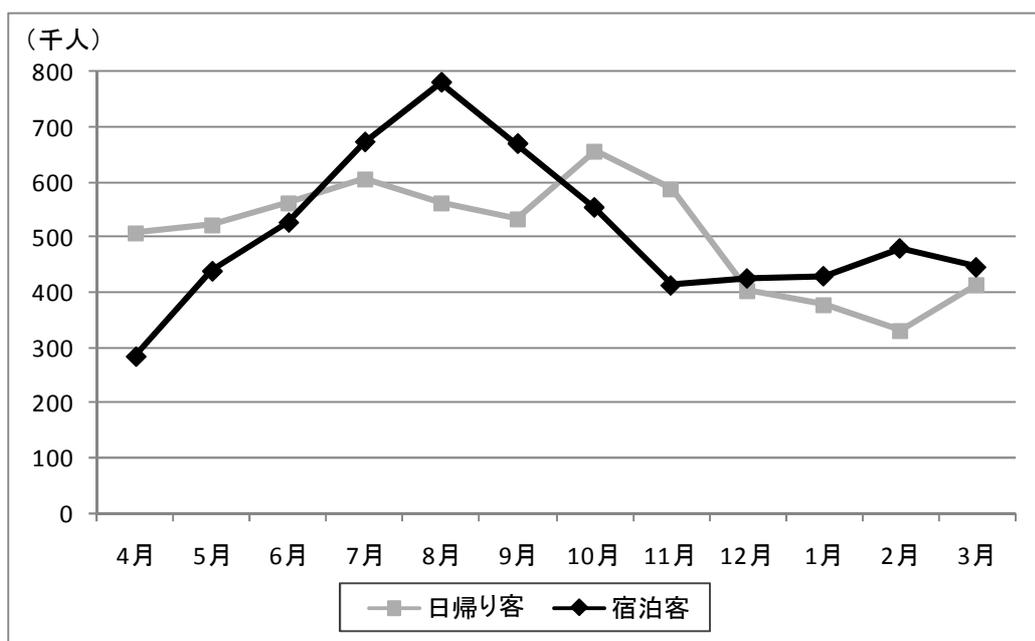


図 2-6 H23 日帰り客・宿泊客別入り込み数月別推移

(5) 道内容・道外客別入り込み状況

年 度	観光客数（千人）			構 成 比（％）			前 年 比（％）		
	合計	道内客	道外客	合計	道内客	道外客	合計	道内客	道外客
19年度	13,781	7,677	6,104	100.0	55.7	44.3	97.7	99.6	95.4
20年度	12,995	7,280	5,715	100.0	56.0	44.0	94.3	94.8	93.6
21年度	13,014	7,256	5,758	100.0	55.8	44.2	100.1	99.7	100.8
22年度	12,605	7,309	5,296	100.0	58.0	42.0	96.9	100.7	92.0
23年度	12,165	7,204	4,961	100.0	59.2	40.8	96.5	98.6	93.7

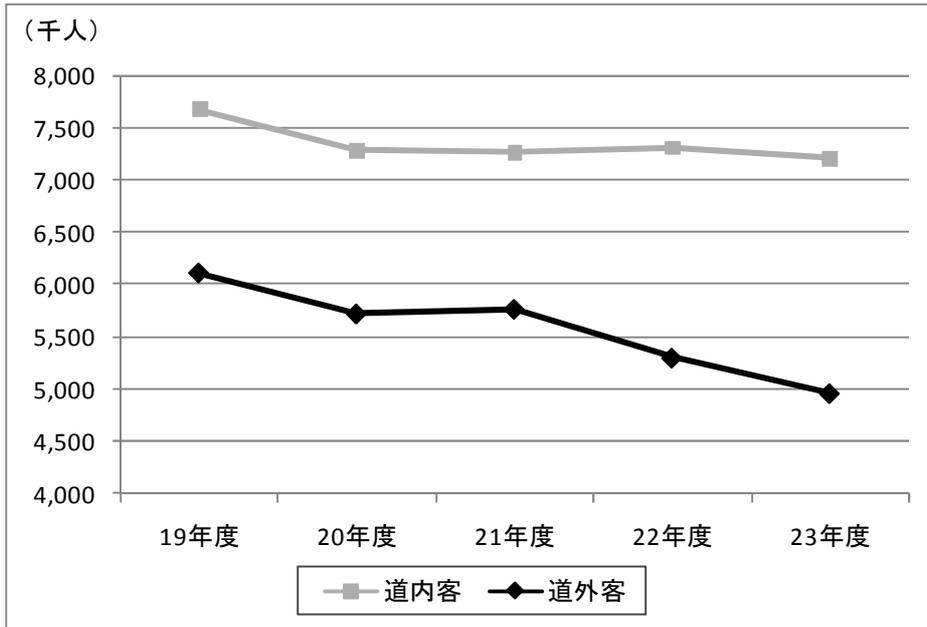


図 2-7 道内容・道外客別入り込み数推移

【道内容・道外客別入り込み数・月別内訳】

(単位：千人)

月	合計	道内容	道外客
平成23年4月	791	566.7	224.3
5月	959	665.4	293.2
6月	1,086	630.5	455.8
7月	1,277	656.3	620.7
8月	1,341	684.9	656.5
9月	1,201	660.1	540.7
10月	1,209	716.9	492.3
11月	1,000	614.8	385.3
12月	828	498.9	328.7
平成24年1月	806	491.1	315.3
2月	809	476.3	332.4
3月	858	542.0	315.6
<b>年度計</b>	<b>12,165</b>	<b>7,204</b>	<b>4,961</b>

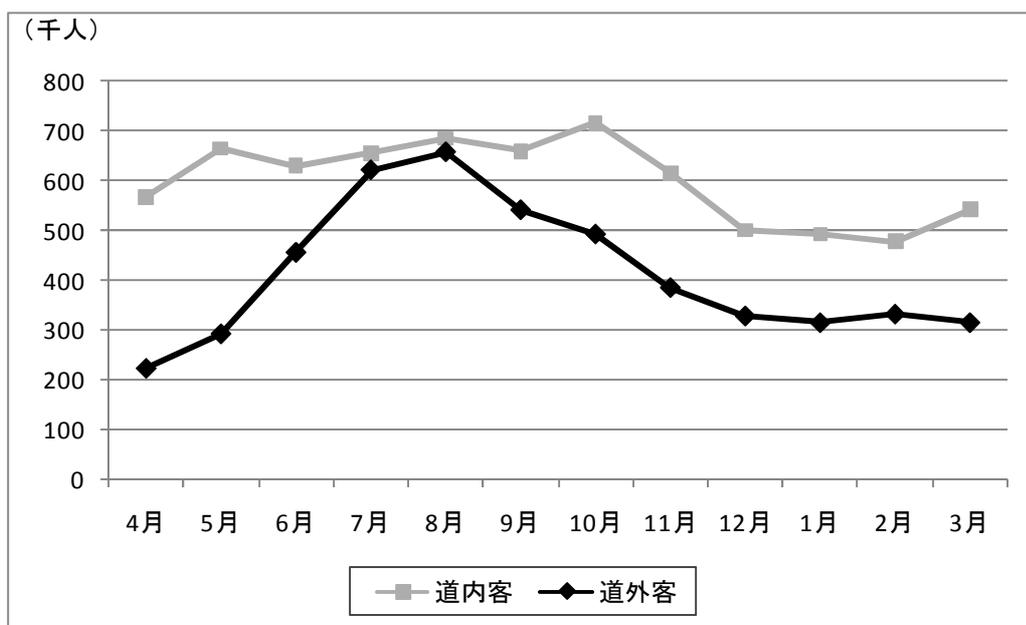


図 2-8 H23 道内容・道外客別入り込み数月別推移

## 第3章 宿泊施設

### 1 宿泊調査の概要

#### (1) 宿泊施設の定義

すべての宿泊施設は「旅館業法」により法的規制を受けています。本書では「旅館業法」の対象施設のうち、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設を除いたものを調査対象とし、以下のとおり分類しています。

##### ア 構造や設備による分類

- (ア) ホテル 全客室の過半数を洋室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (イ) 旅館 全客室の過半数を和室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (ウ) 簡易宿所 カプセルホテル、ユースホステル、ペンション等。

##### イ 運営形態等による分類

- (ア) 政府登録施設 「国際観光ホテル整備法」に基づいて国土交通大臣の登録を受けた宿泊施設。
- (イ) 一般施設 宿泊施設のうち、政府登録施設と公的施設を除いたもの。
- (ウ) 公的施設 公共的性格を有する宿泊施設。国・地方公共団体の出資により管理運営される宿泊施設、および各種組合員（民間企業も含む）用の保養所。

#### (2) 調査の内容

- ア 方法 市内全宿泊施設に調査票を送付し、回答を集計
- イ 時期 上期（4月～9月）と下期（10月～翌年3月）の年2回実施
- ウ 項目 客室規模、利用者数、外国人の利用状況、修学旅行生の利用状況

## 2 宿泊施設の状況

### (1) 軒数、客室数、定員数の年度別推移

各年度末現在

年度	合 計			ホ テ ル			旅 館			簡易宿所		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	(軒)	(室)	(人)	(軒)	(室)	(人)	(軒)	(室)	(人)	(軒)	(室)	(人)
19年度	194	26,025	49,516	130	22,382	36,655	50	2,904	11,412	14	739	1,449
20年度	194	26,107	48,963	132	22,629	36,723	47	2,673	10,605	15	805	1,635
21年度	193	26,321	49,310	129	22,848	37,064	47	2,656	10,659	17	817	1,587
22年度	192	26,737	50,498	130	23,399	38,749	45	2,526	10,175	17	812	1,574
23年度	186	26,361	50,344	128	23,126	38,823	40	2,423	9,946	18	812	1,575

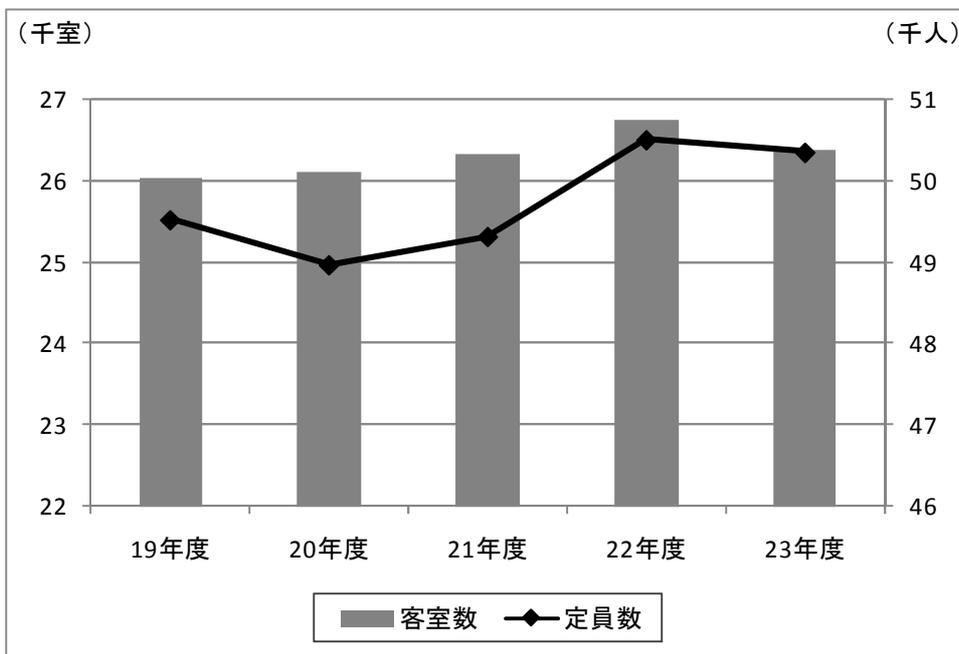


図 3-1 市内宿泊施設の客室数・定員数の推移

### 3 宿泊施設利用状況

#### (1) 宿泊施設利用者数の年度別推移

年 度	利用者数 (千人)	前年度比 (%)
19年度	9,242	91.5%
20年度	9,737	105.4%
21年度	9,483	97.4%
22年度	9,374	98.9%
23年度	9,578	102.2%

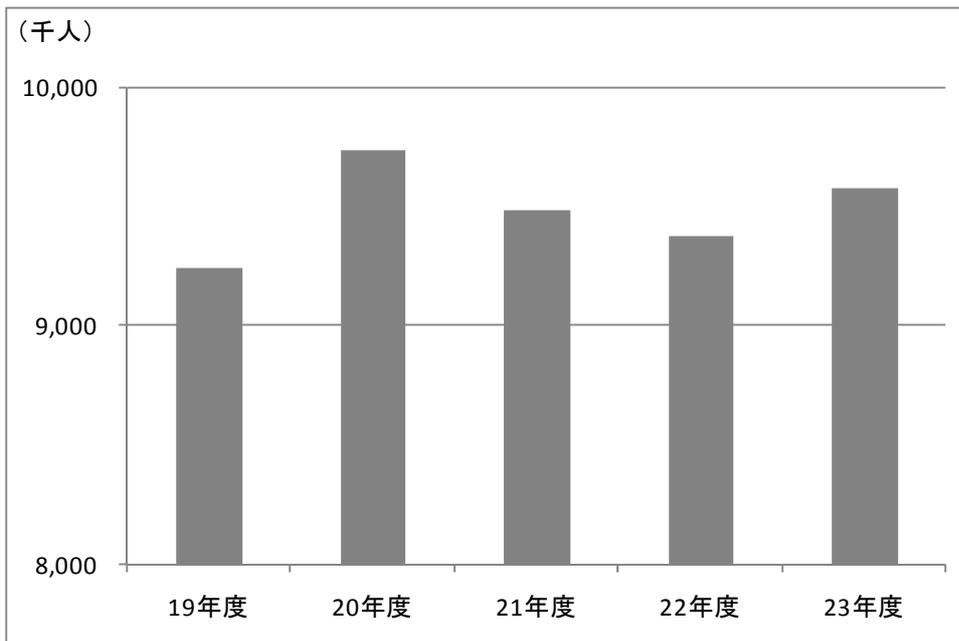


図 3-2 宿泊施設利用者数の推移

ここに掲載する「宿泊施設利用者数」は、市内のホテル・旅館における一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等の宿泊者数を調査したものであり、第2章の観光客入り込み数とは一致しません。

また、すべての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあったおよそ8割の宿泊施設の宿泊施設利用者数を宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乗じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

$$\text{定員利用率} = \frac{\text{宿泊施設利用者数}}{\text{宿泊可能定員数}}$$

(2) 市内宿泊施設の客室稼働率

(単位：%)

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政府登録施設													
19年度	77.8	52.3	72.3	82.2	83.5	84.9	87.5	85.4	75.3	76.0	69.1	89.9	75.5
20年度	75.2	56.4	75.5	85.2	87.5	88.0	87.1	83.6	67.8	68.0	61.7	76.1	63.2
21年度	75.5	52.0	72.7	79.9	84.3	85.4	89.1	81.7	70.1	70.6	64.1	87.2	70.3
22年度	71.3	49.2	71.8	80.3	86.6	84.6	90.1	78.4	62.6	64.6	59.8	80.3	50.1
23年度	72.3	38.9	68.5	78.5	87.5	89.8	92.0	79.4	64.3	67.3	63.8	77.3	68.0
一般施設													
19年度	66.6	51.1	64.3	74.5	76.9	80.4	83.7	67.0	60.0	55.6	52.7	75.2	59.7
20年度	66.3	48.0	65.7	77.0	81.6	79.5	80.0	70.9	59.1	56.8	51.3	66.8	57.0
21年度	63.6	46.0	58.1	68.8	74.7	75.4	79.2	64.9	59.7	56.1	52.1	70.9	57.8
22年度	64.0	46.9	59.6	71.2	77.6	76.5	81.1	66.9	57.0	55.7	55.4	72.0	50.7
23年度	66.6	42.9	56.1	67.2	80.5	81.6	83.5	71.2	61.1	60.5	57.7	72.8	64.4
公的施設													
19年度	68.6	50.0	65.7	82.4	85.4	87.7	88.9	69.9	61.9	49.2	52.0	72.2	59.7
20年度	63.7	47.7	63.9	76.0	78.2	80.1	76.6	69.5	57.7	44.0	48.2	62.7	51.6
21年度	58.1	40.1	56.2	66.7	74.2	71.0	73.0	63.6	51.9	42.4	47.0	60.6	49.6
22年度	56.7	36.8	49.9	64.3	70.5	71.9	71.2	64.2	53.6	42.3	47.1	60.4	46.1
23年度	59.7	38.8	48.8	60.2	73.4	78.6	77.6	67.0	56.0	49.3	48.7	62.1	56.1

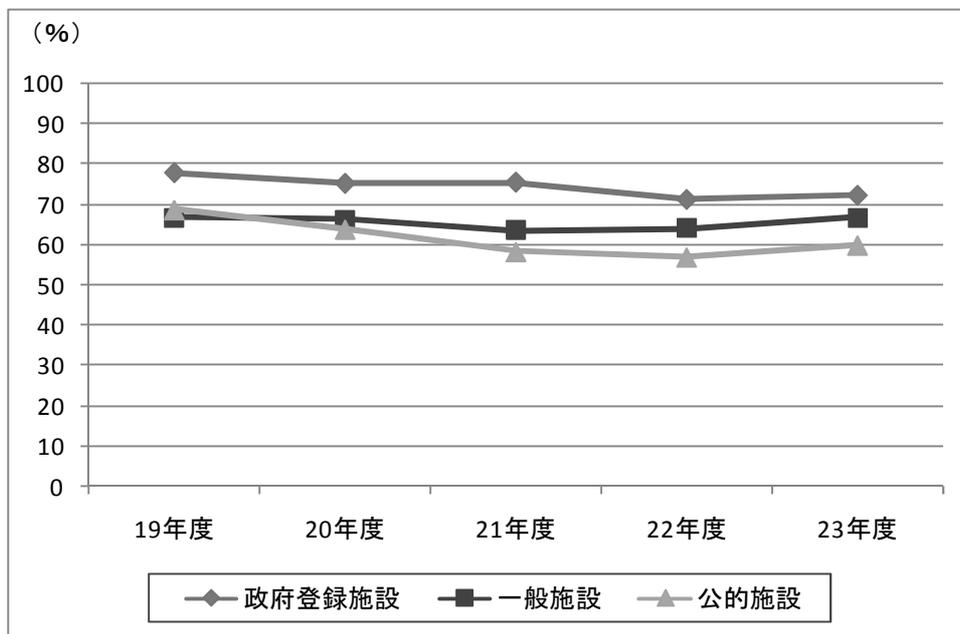


図 3-3 市内宿泊施設の客室稼働率推移

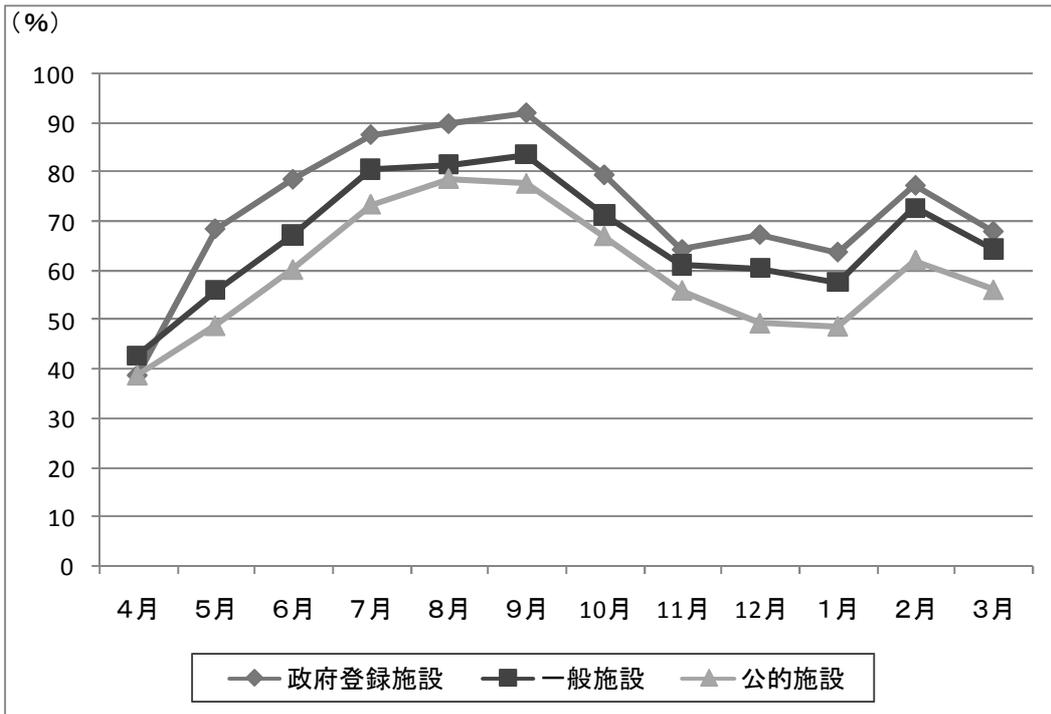


図 3-4 H23 市内宿泊施設の月別客室稼働率

#### 4 外国人の宿泊状況

ここに掲載する外国人宿泊数には、観光以外の目的での利用者も含まれます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

##### (1) 外国人の宿泊者数年度別推移

年 度	宿泊実人数 (人)	前年度比	延べ宿泊者数 (人)	平均宿泊 日数 (日)
19年度	659,833	131.5%	752,081	1.14
20年度	659,251	99.9%	766,854	1.16
21年度	501,517	76.1%	649,210	1.29
22年度	620,464	123.7%	797,515	1.29
23年度	429,240	69.2%	530,295	1.24

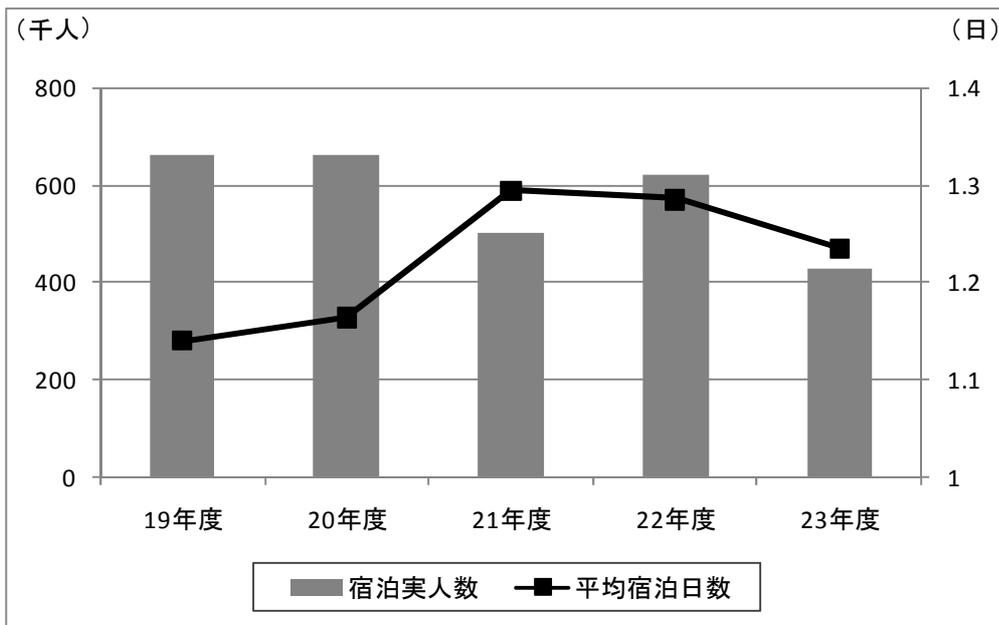


図 3-5 外国人宿泊者数推移

(2) 外国人の宿泊者数月別内訳

(単位：人)

月	外国人宿泊者数 (人)	構成比	前年度比	22年度宿泊者数 (人)
平成 23 年 4 月	2,388	0.6%	7.3%	32,495
5 月	12,111	2.8%	28.3%	42,720
6 月	25,592	6.0%	51.8%	49,444
7 月	45,767	10.7%	46.9%	97,507
8 月	49,680	11.6%	65.9%	75,345
9 月	31,796	7.4%	69.4%	45,833
10 月	37,645	8.8%	89.3%	42,150
11 月	29,790	6.9%	102.6%	29,044
12 月	55,445	12.9%	84.2%	65,840
平成 24 年 1 月	62,196	14.5%	121.3%	51,263
2 月	48,657	11.3%	65.9%	73,823
3 月	28,173	6.6%	187.8%	15,000
<b>年度計</b>	<b>429,240</b>	<b>100.0%</b>	<b>69.2%</b>	<b>620,464</b>

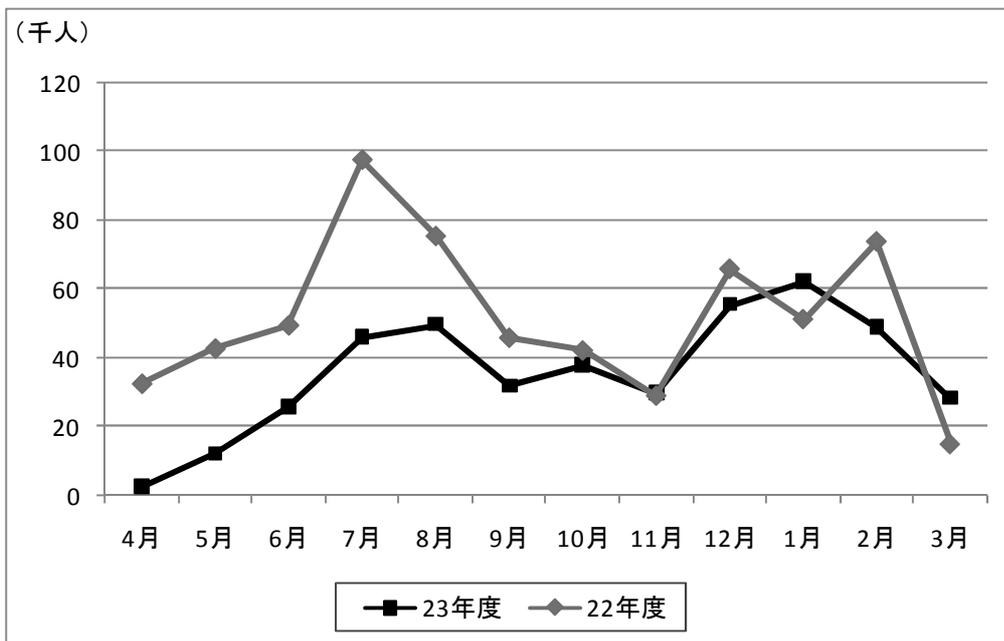


図 3-6 月別外国人宿泊者数推移

(3) 外国人の宿泊者数発地別内訳

区 分	宿泊者数 (人)	延べ宿泊者数 (人)	平均 宿泊日数 (日)	構成比	前年度比	22年度 宿泊者数 (人)
合 計	429,240	530,295	1.24	100.0%	69.2%	620,464
<b>(州 別)</b>						
アジア	395,709	482,068	1.22	92.2%	70.3%	563,265
北米	9,636	14,660	1.52	2.2%	61.1%	15,775
ヨーロッパ	9,571	14,251	1.49	2.2%	54.1%	17,699
オセアニア	4,618	6,811	1.47	1.1%	53.5%	8,627
中南米	922	1,327	1.44	0.2%	95.4%	966
アフリカ	240	424	1.77	0.1%	59.1%	406
不明	8,544	10,754	1.26	2.0%	62.2%	13,726
<b>(国・地域別)</b>						
台湾	134,889	156,704	1.16	31.4%	99.4%	135,675
香港	98,171	121,383	1.24	22.9%	72.7%	135,022
中国	63,708	77,085	1.21	14.8%	58.2%	109,395
韓国	53,318	68,522	1.29	12.4%	54.8%	97,304
シンガポール	26,200	32,013	1.22	6.1%	57.6%	45,488
タイ	8,086	10,879	1.35	1.9%	65.6%	12,334
アメリカ合衆国	7,903	12,059	1.53	1.8%	60.3%	13,107
マレーシア	5,928	7,727	1.30	1.4%	33.6%	17,634
オーストラリア	3,604	5,288	1.47	0.8%	52.4%	6,883
ロシア	2,738	4,150	1.52	0.6%	53.9%	5,084
イギリス	1,798	2,471	1.37	0.4%	72.2%	2,492
カナダ	1,733	2,601	1.50	0.4%	65.0%	2,668
ドイツ	1,015	1,356	1.34	0.2%	58.8%	1,726
フランス	803	1,079	1.34	0.2%	40.3%	1,991
フィリピン	599	869	1.45	0.1%	88.0%	681
インド	554	826	1.49	0.1%	148.5%	373
中南米	922	1,327	1.44	0.2%	95.4%	966
アフリカ	240	424	1.77	0.1%	59.1%	406
その他	8,487	12,778	1.51	2.0%	48.5%	17,509
不明	8,544	10,754	1.26	2.0%	62.2%	13,726

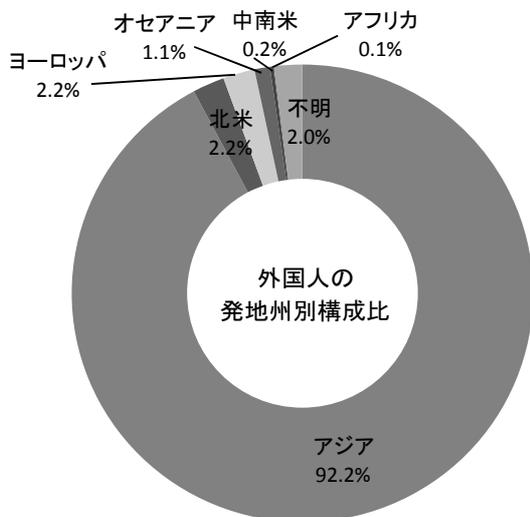


図 3-7 外国人宿泊者数構成比（州別）

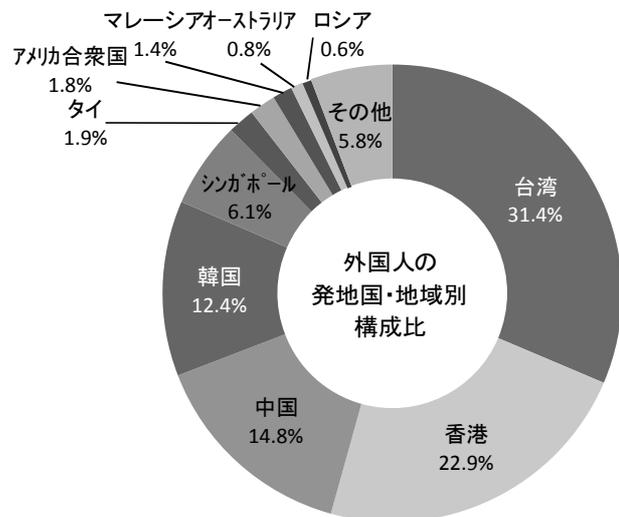


図 3-8 外国人宿泊者数構成比（国・地域別）

# 参 考

## 訪日外客数（観光客）

（単位：人）

区 分	訪日外客数（観光客）		
	2011年(平成23年)	構成比	2010年(平成22年)
<b>合 計</b>	<b>4,057,387</b>	<b>100.0%</b>	<b>6,361,974</b>
<b>(州 別)</b>			
アジア	3,207,478	79.1%	4,996,418
北アメリカ	402,130	9.9%	596,694
ヨーロッパ	281,962	6.9%	529,917
オセアニア	140,485	3.5%	206,028
南アメリカ	19,173	0.5%	24,830
アフリカ	5,947	0.1%	7,599
無国籍・その他	212	0.0%	488
<b>(国・地域別)</b>			
韓国	1,199,017	29.6%	1,963,002
台湾	868,009	21.4%	1,139,339
中国	453,334	11.2%	831,652
香港	333,772	8.2%	473,031
アメリカ合衆国	318,323	7.8%	457,247
オーストラリア	124,182	3.1%	182,420
タイ	95,185	2.3%	165,901
シンガポール	86,034	2.1%	151,580
カナダ	73,015	1.8%	121,900
イギリス	72,267	1.8%	110,995
マレーシア	50,312	1.2%	80,308
フランス	50,048	1.2%	99,500
インドネシア	33,954	0.8%	53,195
フィリピン	29,832	0.7%	43,298
ドイツ	28,327	0.7%	62,384
その他	241,776	6.0%	426,222

※訪日外客数は暦年集計。

※国別外客数は、上位 15 カ国を抜粋表示。

<資料> 日本政府観光局（JNTO）訪日外客統計

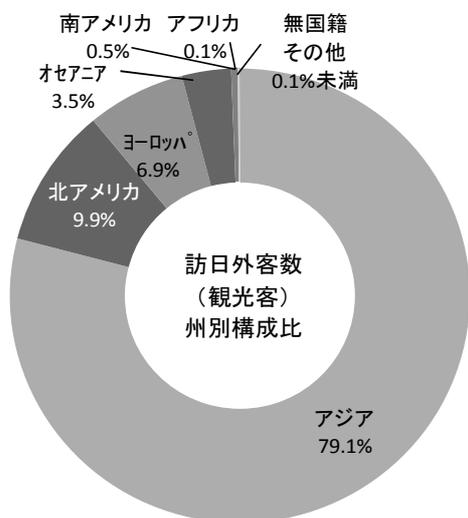


図 3-9 訪日外客数構成比（州別）

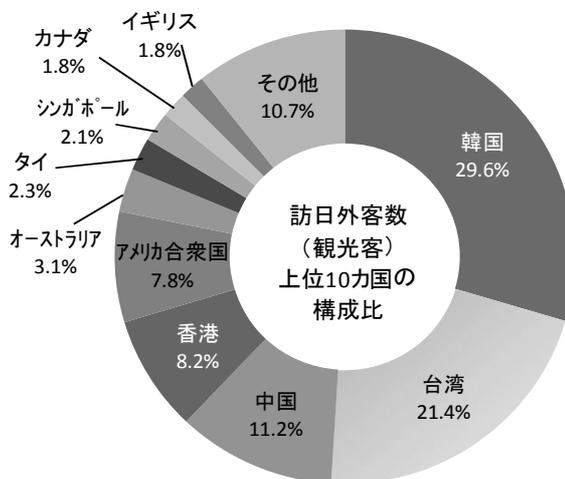


図 3-10 訪日外客数構成比（国・地域別）

## 5 修学旅行生の宿泊状況

回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める修学旅行生の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

### (1) 修学旅行生の宿泊数年度別推移

年 度	学 校 数 (校)	宿 泊 延 べ 人 数 (人)
19年度	1,201	174,990
20年度	1,331	194,813
21年度	1,208	171,951
22年度	1,188	164,904
23年度	1,362	183,663

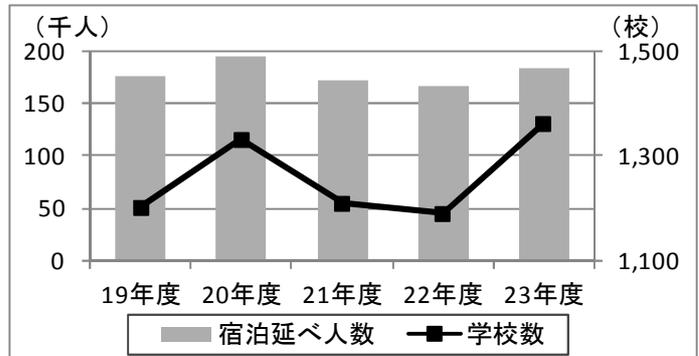


図 3-11 修学旅行生の宿泊延べ人数推移

### (2) 修学旅行生の宿泊数月別内訳

月	学 校 数 (校)	宿 泊 延 べ 人 数 (人)	延 べ 人 数 構成比
平成 23 年 4 月	21	1,592	0.9%
5 月	257	26,154	14.2%
6 月	276	34,144	18.6%
7 月	102	9,110	5.0%
8 月	138	11,072	6.0%
9 月	234	27,324	14.9%
10 月	122	24,351	13.3%
11 月	30	5,687	3.1%
12 月	53	13,587	7.4%
平成 24 年 1 月	59	18,024	9.8%
2 月	50	9,363	5.1%
3 月	20	3,255	1.8%
<b>年度計</b>	<b>1,362</b>	<b>183,663</b>	<b>100.0%</b>

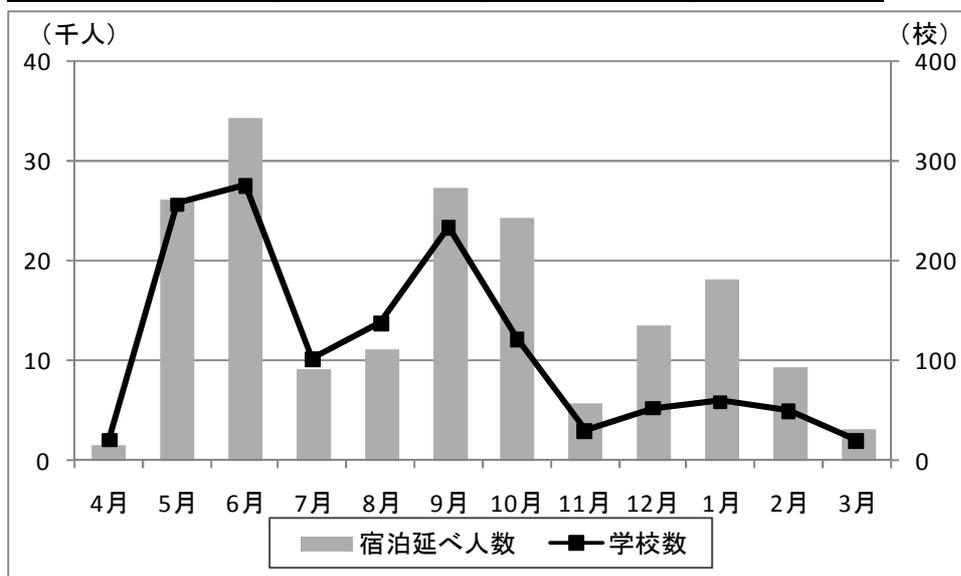


図 3-12 H23 修学旅行生の宿泊数

(3) 修学旅行生の宿泊数発地別内訳

区 分	学校数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数構成 比	前年度比	前年度 宿泊延べ人数 (人)
<b>合 計</b>	<b>1,362</b>	<b>183,663</b>	<b>100.0%</b>	<b>111.4%</b>	<b>164,904</b>
道 内	605	38,389	20.9%	125.5%	30,590
東 北	110	12,000	6.5%	255.8%	4,692
関 東	135	26,360	14.4%	118.1%	22,315
中 部	100	16,197	8.8%	86.2%	18,800
近 畿	130	28,989	15.8%	105.9%	27,375
中 国	106	18,488	10.1%	91.5%	20,205
四 国	102	22,260	12.1%	108.9%	20,435
九州・沖縄	74	20,980	11.4%	102.4%	20,492

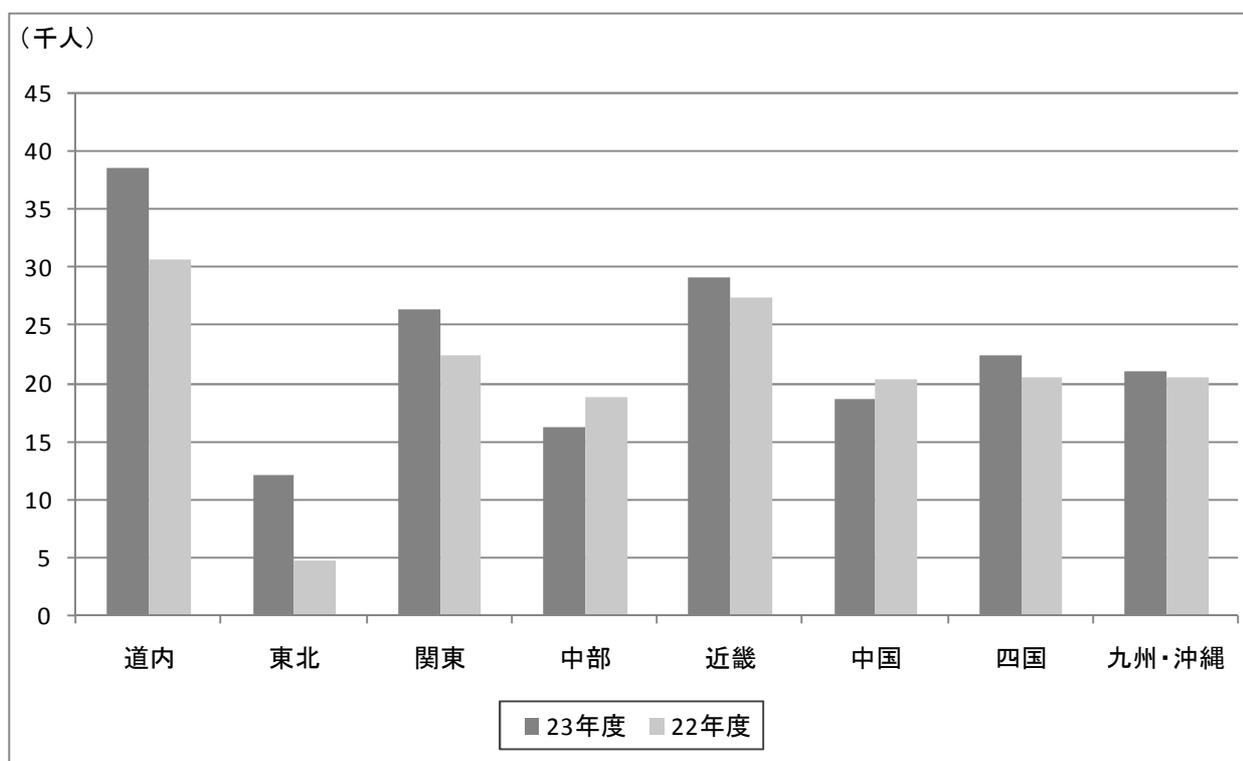


図 3-13 修学旅行生の発地別延べ宿泊者数

## 6 定山溪地域の宿泊状況

### (1) 定山溪地域の宿泊施設軒数、客室数、定員数

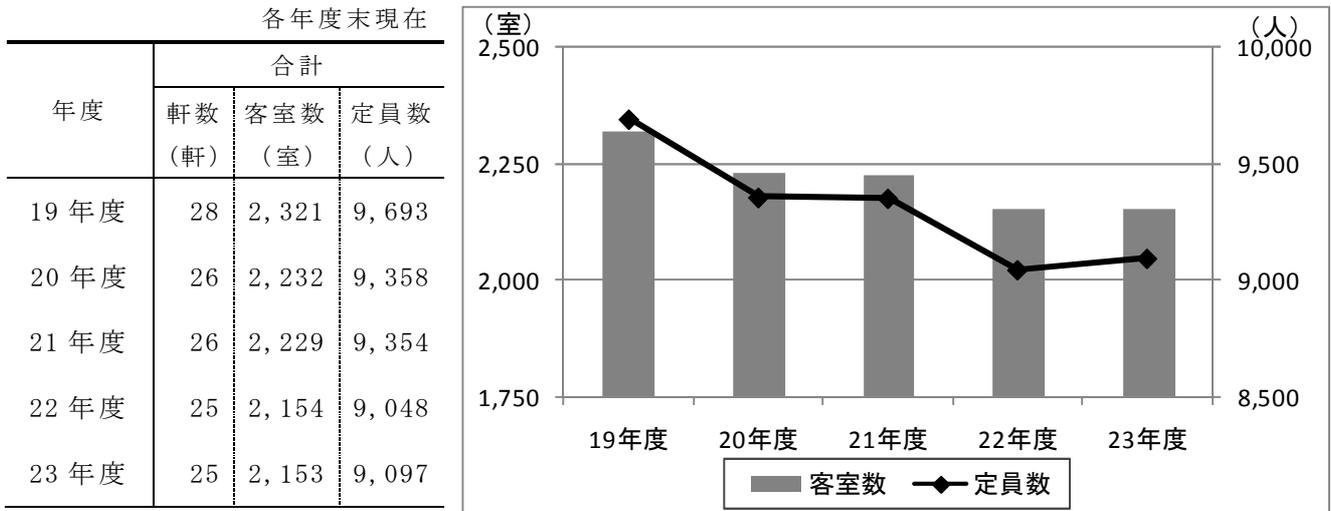


図 3-14 定山溪地域の宿泊施設客室数・定員数の推移

### (2) 定山溪地域の宿泊施設利用者数

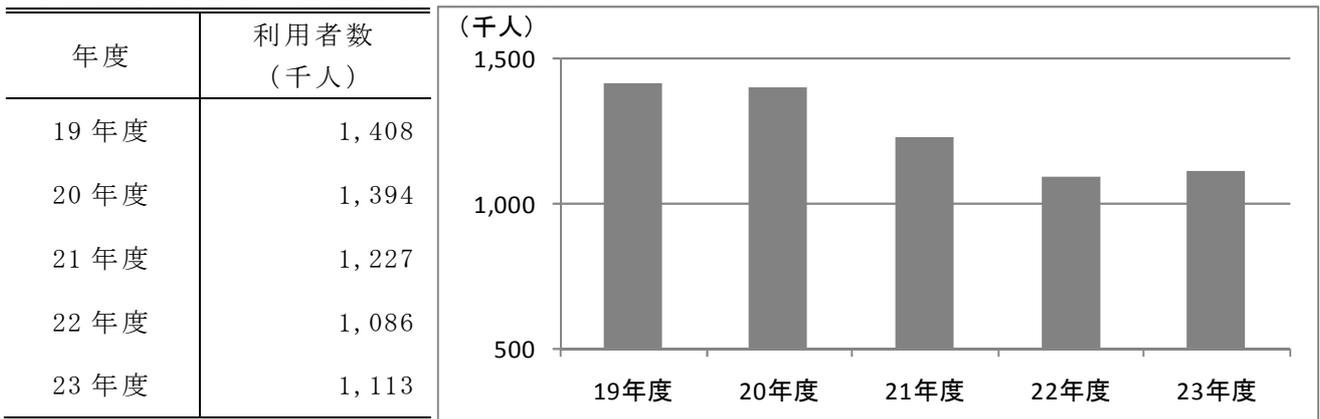


図 3-15 定山溪地域の宿泊施設利用者数の推移

ここに掲載する定山溪地域の「宿泊施設利用者数」は、一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等を含む全ての利用者数です。

ただし、全ての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあったおよそ8割の宿泊施設の宿泊施設利用者数を宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乗じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

$$\text{定員利用率} = \frac{\text{宿泊施設利用者数}}{\text{宿泊可能定員数}}$$

### (3) 定山溪地域宿泊施設の客室稼働率

(単位：%)

区分	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政府登録施設	52.9	39.6	49.6	45.2	53.6	71.6	58.5	61.5	47.9	45.9	55.8	47.9	56.8
一般施設	58.1	46.4	56.5	44.9	57.1	64.5	60.2	69.6	63.4	59.1	59.1	54.5	60.8
公的施設	37.1	22.2	27.1	28.8	31.8	43.2	35.4	52.7	46.5	39.3	40.1	39.4	47.4

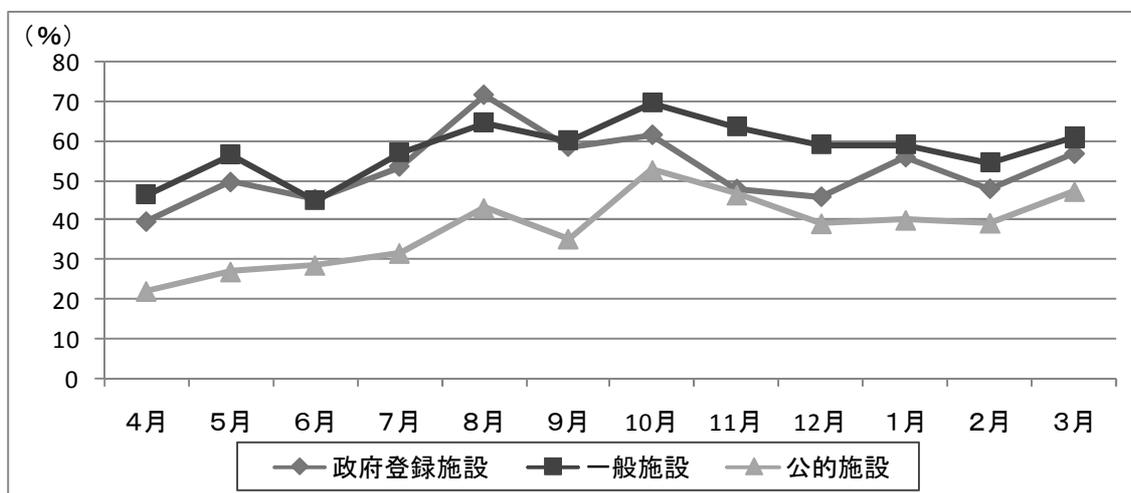


図 3-16 定山溪地域宿泊施設の客室稼働率

### (4) 定山溪地域の外国人宿泊者数

ここに掲載する外国人宿泊者数には、観光以外の目的での利用者も含まれます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊者数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊者数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

月	宿泊者数 (人)	構成比	前年度比	前年度宿泊者数 (人)
平成 23 年 4 月	82	0.3%	8.0%	1,025
5 月	393	1.2%	32.8%	1,197
6 月	1,294	4.1%	34.1%	3,796
7 月	4,694	14.9%	59.1%	7,936
8 月	4,033	12.8%	55.1%	7,326
9 月	2,171	6.9%	78.1%	2,780
10 月	3,126	9.9%	76.7%	4,075
11 月	1,940	6.2%	120.3%	1,612
12 月	3,353	10.7%	61.7%	5,432
平成 24 年 1 月	4,889	15.5%	165.7%	2,950
2 月	3,189	10.1%	54.6%	5,840
3 月	2,281	7.3%	430.4%	530
<b>年度計</b>	<b>31,445</b>	<b>100.0%</b>	<b>70.7%</b>	<b>44,499</b>

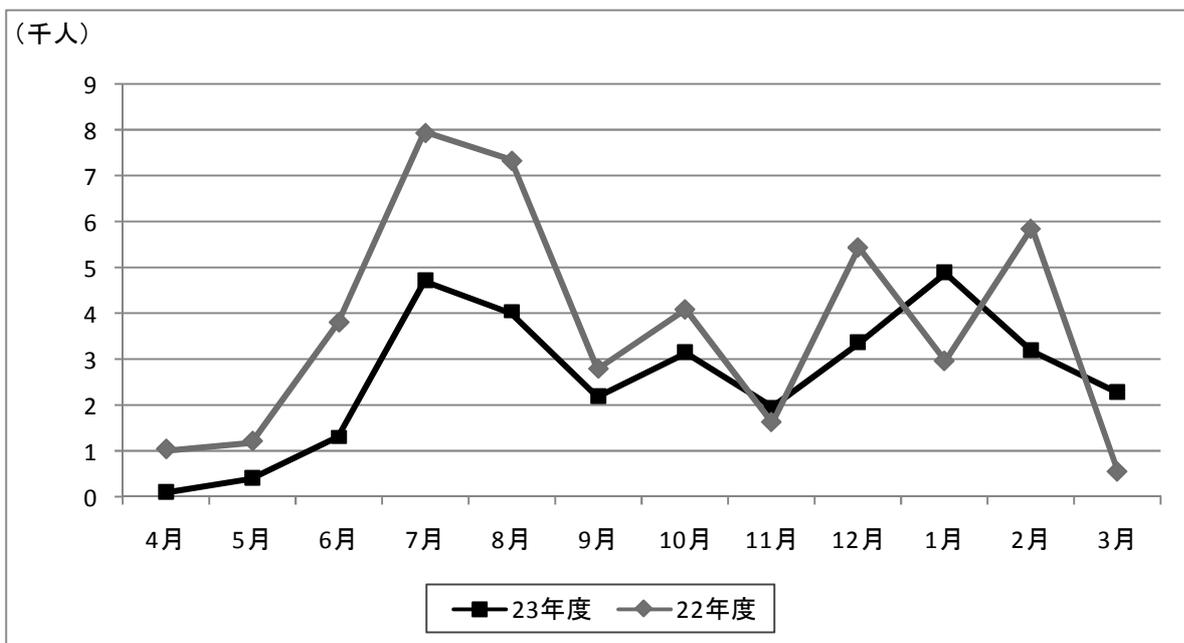


図 3-17 定山溪地域の月別外国人宿泊者数

(5) 定山溪地域の修学旅行生の宿泊状況

回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める修学旅行生の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

月	学校数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数 構成比
平成 23 年 4 月	1	66	0.2%
5 月	40	2,910	8.8%
6 月	67	6,114	18.5%
7 月	16	1,951	5.9%
8 月	40	3,197	9.7%
9 月	48	4,894	14.8%
10 月	16	3,426	10.3%
11 月	2	362	1.1%
12 月	6	3,143	9.5%
平成 24 年 1 月	8	4,296	13.0%
2 月	5	1,680	5.1%
3 月	3	1,083	3.3%
<b>年度計</b>	<b>252</b>	<b>33,122</b>	<b>100.0%</b>

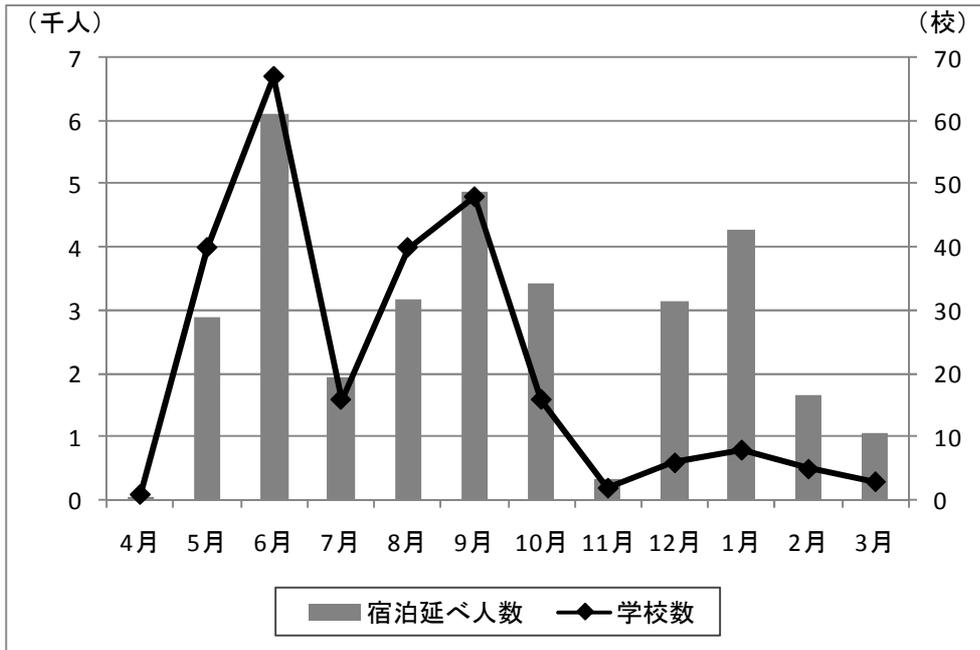


図 3-18 定山溪地域の修学旅行生の月別宿泊数

【定山溪地域の修学旅行生の宿泊数発地別内訳】

発地別	学校数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数 構成比
<b>合 計</b>	<b>252</b>	<b>33,122</b>	<b>100.0%</b>
道 内	164	10,142	30.6%
東 北	5	708	2.1%
関 東	28	5,573	16.8%
中 部	9	1,775	5.4%
近 畿	33	8,886	26.8%
中 国	4	1,125	3.4%
四 国	1	263	0.8%
九州・沖縄	8	4,650	14.0%

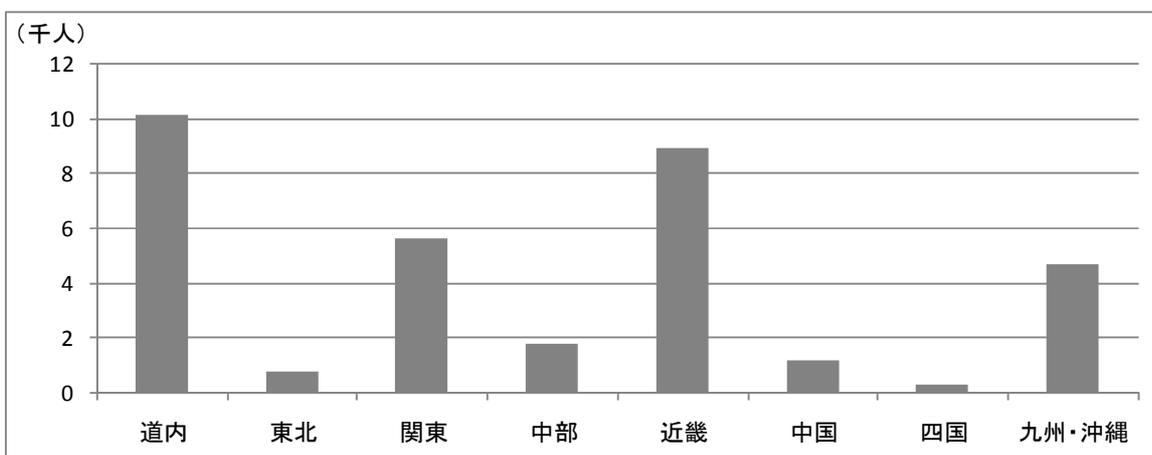


図 3-19 定山溪地域の修学旅行生発地別延べ宿泊者数

## 第4章 イベントとコンベンション

### 1 札幌でのイベント開催状況

#### (1) さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは、昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。



回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

第63回雪まつりでは、国内、海外の有名建築物や子供たちに人気のキャラクターなどの大雪氷像が「大通会場」に作られ、幅広い年齢層から関心を集めました。また第2会場の「つどーむ会場」は遊びをテーマとし、チューブスライダーや、北海道ならではの体験をテーマとした竹スキーなど、体験型の雪まつりとして好評を博しましたが、インフルエンザの大流行や大雪による交通機関への影響により、観客数は前回より15%減の205万人台の人出となりました。

(URL) <http://www.snowfes.com/>

#### 【第63回さっぽろ雪まつりの開催概要】

期 間	平成24年2月6日(月)～12日(日)〔7日間〕	
会 場	大 通 会 場	大通西1～12丁目
	つどーむ会場	札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」
	すすきの会場	駅前通(南4～7条)
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会式(大通西7丁目 2月6日)</li> <li>・ つどーむ会場オープニングセレモニー(つどーむ 2月6日)</li> <li>・ 国際雪像コンクール 16チーム(大通西11丁目)</li> <li>・ 市民雪像(大通小雪像98基、中雪像3基、つどーむ小雪像6基)</li> <li>・ スノーオブジェコンテスト(つどーむ 2月6日)</li> <li>・ ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施)</li> </ul>	
雪 氷 像 数	228基(大雪像5基、中雪像7基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪 輸 送 量	5tトラックで約6,534台(1月7日開始)	

#### 【観客数、雪氷像数の推移(過去10年)】

	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)	第57回 (平成18年)	第58回 (平成19年)	第59回 (平成20年)	第60回 (平成21年)	第61回 (平成22年)	第62回 (平成23年)	第63回 (平成24年)
雪像数(基)	308	311	304	338	307	290	286	248	254	228
観客数 (千人)	2,233	2,179	2,191	1,985	2,101	2,159	2,080	2,433	2,416	2,054

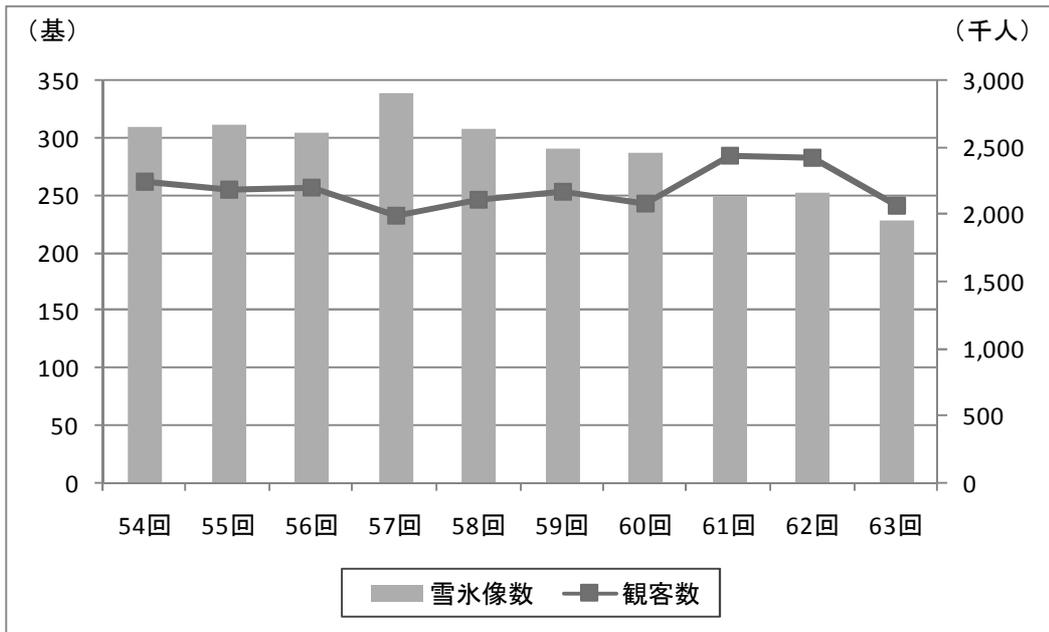


図 4-1 さっぽろ雪まつりの観客数、雪氷像数の推移

## (2) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で、南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。

鳴子（なるこ）を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内各会場で腕を競い合います。

平成24年6月の第21回のYOSAKOIソーラン祭りは、「市民の祭り」をテーマに開催し、昨年に引き続き「一般公募審査員」と「市民ボランティア」を募集しました。審査員には、一次審査からファイナル審査まで、全ての審査を市民審査員が行いました。

祭り最終日のファイナルステージでは、各賞受賞チームの演舞に加えファイナル審査が行われ、今年もっとも感動と元気を与えてくれたチームにYOSAKOIソーラン大賞が授与されました。

期間中、時折雨に降られることがありましたが、会場を訪れた人の数は198万2,500人にのびりました。

(URL) <http://www.yosakoi-soran.jp/>



提供：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会

【第20・21回YOSAKOIソーラン祭りの開催概要】

	第20回（平成23年度）	第21回（平成24年度）
期 間	平成23年6月8日(水)～12日(日)	平成24年6月6日(水)～10日(日)
会 場	大通公園を始めとする市内20会場	大通公園を始めとする市内19会場
参 加 者	延べ28,000人 284チーム	延べ27,000人 271チーム
	うち市内 75チーム	60チーム
	道内 81チーム	77チーム
	その他 128チーム	134チーム
観 客 数	200万3,200人	198万2,500人

【観客数、参加チーム数、参加者数の推移（過去10年）】

	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)	第14回 (17年度)	第15回 (18年度)	第16回 (19年度)	第17回 (20年度)	第18回 (21年度)	第19回 (22年度)	第20回 (23年度)	第21回 (24年度)
参加チーム数	330	333	334	350	341	330	316	304	284	271
参加者(百人)	440	430	430	450	430	430	330	300	280	270
観客数(万人)	202	208	214	186	216	202	179	218	200	198

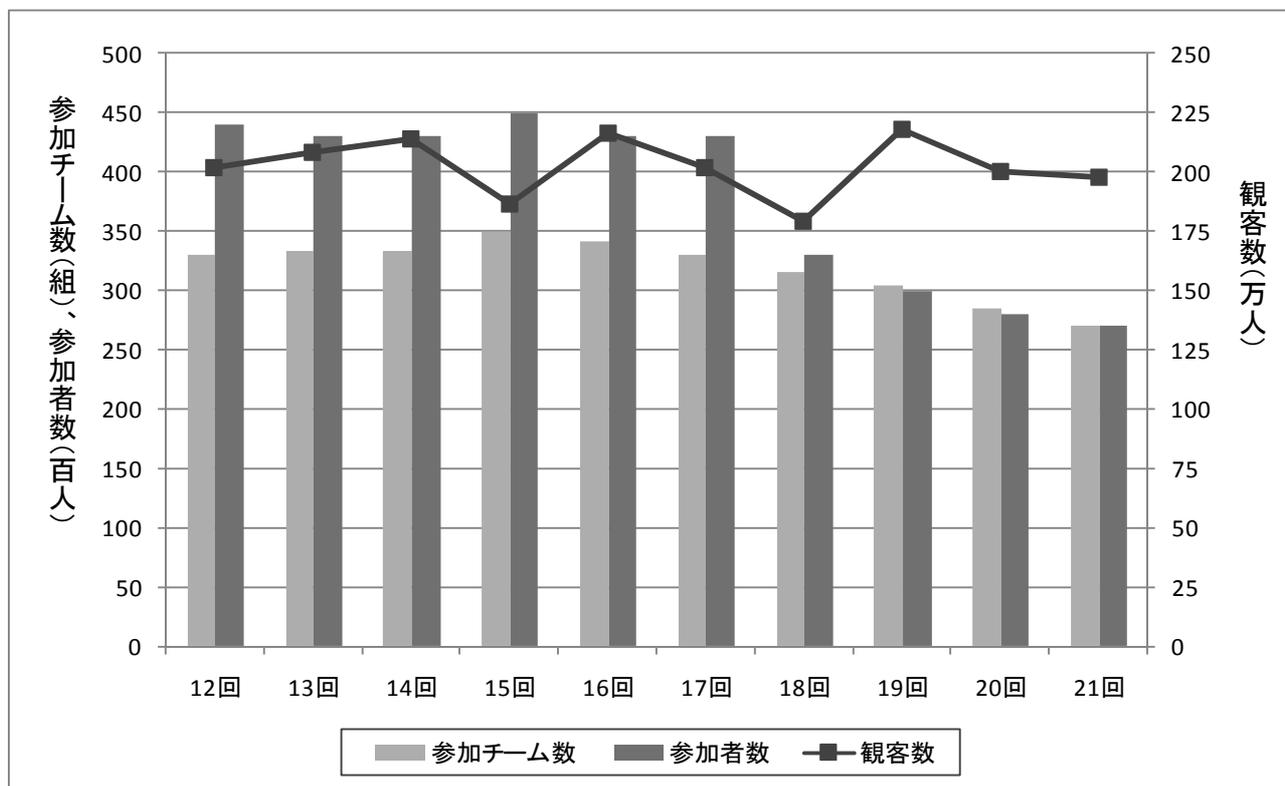


図 4-2 YOSAKOI ソーラン祭りの観客数、参加チーム数、参加者数の推移

### (3) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、このまつりは毎年 7・8 月に 1 カ月間連続して開催され、大通会場をはじめ、狸まつり、すすきの祭りなど、各団体・各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りです。



まつりの前半には、メイン会場の「福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

(URL) <http://www.sapporo-natsu.com/>

#### 【第 59 回さっぽろ夏まつりの開催概要】

期 間：平成 24 年 7 月 21 日（土）～8 月 20 日（月）〔31 日間〕

行事等

	行 事 ・ 会 場	日 程
大 通	福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン (西 4～8、10・11 丁目)	7 月 21 日～8 月 15 日
	北海盆踊り (西 2 丁目)	8 月 14 日～20 日
	「仮装コンクール」(西 2・3 丁目)	8 月 20 日
	さっぽろバザール (西 5・6 丁目)	8 月 18 日～20 日
狸 小 路	第 59 回狸まつり	7 月 21 日～8 月 20 日
すすきの	第 48 回すすきの祭り	8 月 2 日～4 日

#### 【ビール消費量および盆踊り参加者数の推移 (過去 10 年)】

	第50回 (平成15年)	第51回 (平成16年)	第52回 (平成17年)	第53回 (平成18年)	第54回 (平成19年)	第55回 (平成20年)	第56回 (平成21年)	第57回 (平成22年)	第58回 (平成23年)	第59回 (平成24年)
ビール消費量(kℓ)	256	442	428	575	459	539	520	416	474	457
盆踊り参加者(千人)	173	149	84	87	101	108	91	115	103	118
平均最高気温(℃)	23.3	28.2	27.0	27.9	26.4	26.4	25.8	27.8	27.4	27.2

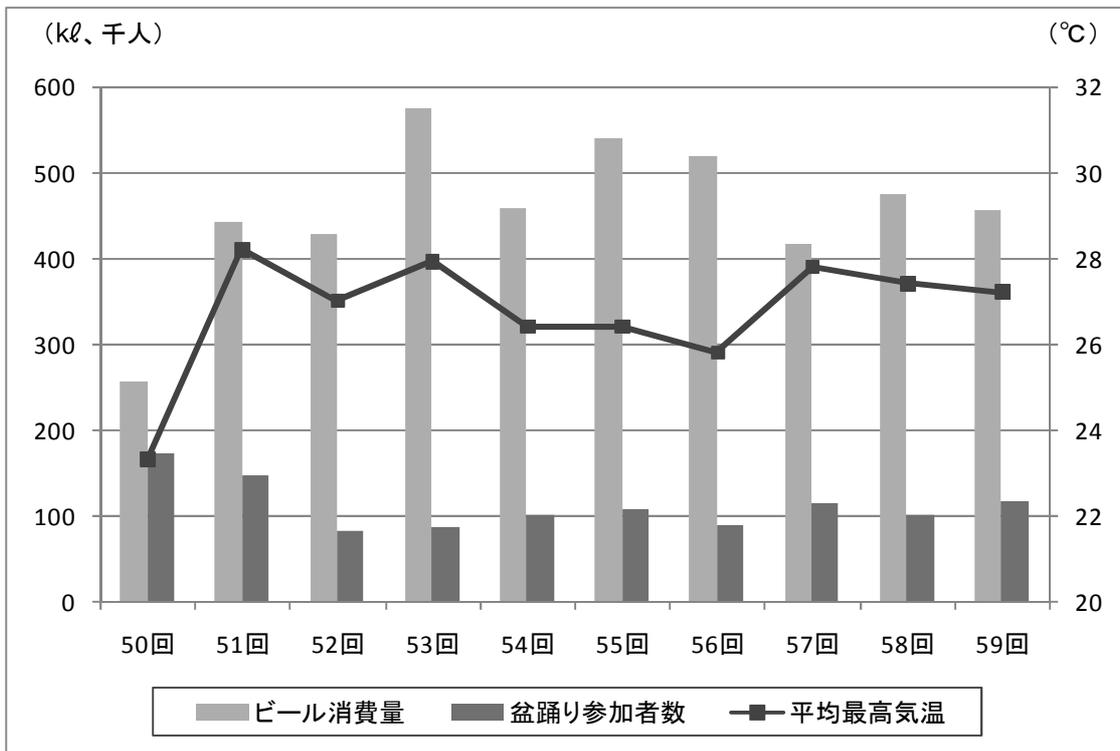


図 4-3 さっぽろ夏まつりのビール消費量及び盆踊り参加者数、平均最高気温の推移

#### (4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和 34 年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで、ライラックまつりは始まりました。翌、昭和 35 年には、札幌市の人口 50 万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。



毎年 5 月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの解放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、平成 24 年で 54 回目を迎えました。小・中・高校生による吹奏楽・合唱などが行われる「ライラック音楽祭」や茶道の各流派による「野だて」などの文化行事が多数行われたほか、道内 13 のワイナリーの個性豊かなワインと道産食材の料理を楽しむワインガーデンも人気を博しました。

また、第 2 会場として、白石区の川下公園でも、ライラックの森を公園職員が案内するライラックツアーやライラックをテーマとしたフォトコンテストなどの各種イベントを開催しました。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

【第 53・54 回さっぽろライラックまつりの開催概要】

	第 53 回（平成 23 年度）		第 54 回（平成 24 年度）	
期 間	平成 23 年 5 月 25 日（水） ～29 日（日）	6 月 4 日（土） 6 月 5 日（日）	平成 24 年 5 月 23 日（水） ～27 日（日）	6 月 2 日（土） 6 月 3 日（日）
会 場	大通公園西 4～7 丁目	川下公園	大通公園西 4～7 丁目	川下公園
行事等	苗木プレゼント、ライラック写生コーナー、野だて、ライラック音楽祭、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン、ライラック展示・相談コーナー 他			
観客数	418,500 人		420,400 人	

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでバラバラであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和 38 年の第 1 回開催から 4 年を経た第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



また、昭和 49 年からは、札幌地下街を会場とし、全国でも例のない屋内型の菊まつりとして、札幌市の秋の恒例行事として内外に定着しました。さらに、平成 23 年より、様々なイベントが可能な札幌駅前通地下広場に主要会場を移し、菊花総合花壇の創設や、伝統的な芸術文化行事による和を基調とした空間演出などを併せて実施しています。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

【2011 さっぽろ菊まつりの開催概要】

期 間	平成 23 年 10 月 31 日（月）～11 月 3 日（木・祝）〔4 日間〕
会 場	札幌駅前通地下広場（北 1 条～北 4 条の交差点広場、憩いの空間） さっぽろ地下街オーロラタウン（オーロラプラザ）
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会
出 展 数	807 点

## (6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、40 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。

27 回からは、南一条通りが新会場として加わりました。



(URL) <http://www.white-illumination.jp/>

### 【第 31 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要】

会 期	大通公園会場 [大通西 1～8 丁目]	平成 23 年 11 月 25 日(金)～ 平成 23 年 12 月 25 日(日) 31 日間
	駅前通り会場 [北 4 条～南 4 条]	平成 23 年 11 月 25 日(金)～ 平成 24 年 2 月 12 日(日) 80 日間
	南一条通り会場 [南 1 西 1～西 3]	平成 23 年 11 月 25 日(金)～ 平成 24 年 2 月 12 日(日) 80 日間
点灯時間	16 時 30 分～22 時 00 分 (12 月 23 日～25 日は 24 時まで)	
総電球数	40 万個	
行 事 等	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 平成 23 年 11 月 25 日(金)～12 月 24 日(土)	

## (7) さっぽろオータムフェスト

さっぽろオータムフェストは、「北海道・札幌の食」をメインテーマとし、札幌市内の魅力発信はもとより、道内市町村や民間事業者との連携を図り、道内各地域のアンテナショップとしての役割を果たし、北海道全体の活性化に貢献することを目的に平成 20 年度からスタートしました。

道内各市町村で採れた農産物や海産物、地元の食材を生かした個性あるご当地のグルメ、道産の酒やおつまみなどの特選品が並び、多くの来場者の方々に秋の味覚をお楽しみいただきました。

また、観光客や来場者に札幌市内を周遊観光していただくことを目的に、創成川東エリア、円山エリアおよびすすきのエリアとの連携を実施し、さらに各エリアへの交通手段としてベロタクシーやポロクルとも連携を行いました。



(URL) <http://www.sapporo-autumnfest.jp/>

【さっぽろオータムフェスト 2012 の開催概要】

期 間	平成 24 年 9 月 14 日（金）～30 日（日）〔17 日間〕
会 場	大通公園 4 丁目～8 丁目
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープニングセレモニー（6 丁目野外ステージ 9 月 14 日）</li> <li>・ ウェルカムゲート（4 丁目）</li> <li>・ 北海道の新・ご当地グルメ&amp;ラーメン祭り 2012（5 丁目）</li> <li>・ あおぞら×ほしぞら 大通バザールアミーゴ！（6 丁目）</li> <li>・ 大通公園 7 丁目 BAR（7 丁目）</li> <li>・ 大通ふるさと市場（8 丁目）</li> </ul>

【来場者数の推移】

	第1回 (平成20年)	第2回 (平成21年)	第3回 (平成22年)	第4回 (平成23年)
来場者数 (千人)	724	1,304	1,115	1,306

## 2 札幌でのコンベンション開催状況

### (1) 札幌での主なコンベンション開催状況

(単位：件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比(%)	件 数	件 数	件 数
18年度	911	104.5	64	222	625
19年度	952	104.5	67	112	773
20年度	1,059	111.2	109	183	767
21年度	987	93.2	87	104	796
22年度	1,050	106.4	83	164	803

(注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。

### (2) 札幌コンベンションセンター稼働率（平成23年度）

	利用日(日)	稼働率(%)
大ホール	268	77.5
特別会議場	158	45.7
中ホール	246	71.1
小ホール	239	69.1
会議室(15室)	249	72.0

総来場者数	402,096人
-------	----------

(注) 稼働率は、営業日数346日で計算。

## 参 考

国際コンベンション開催状況の他都市との比較

(単位：件)

2008年（平成20年）			2009年（平成21年）			2010年（平成22年）		
順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数
1	東京(23区)	480	1	東京(23区)	497	1	東京(23区)	491
2	横浜	184	2	福岡	206	2	福岡	216
3	福岡	172	3	横浜	179	3	横浜	174
4	京都	171	4	京都	164	4	京都	155
5	名古屋	130	5	名古屋	124	5	名古屋	122
6	神戸	94	6	大阪	94	6	神戸	91
7	つくば地区	80	7	札幌	82	7	札幌	86
8	大阪	77	8	神戸	76	8	仙台	72
8	札幌	77	9	つくば地区	74	9	大阪	69
10	千葉	67	10	千里地区	71	9	つくば地区	69

(注) 「つくば地区」とはつくば市、土浦市を指す。

「千里地区」とは豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す。

<資料> 日本政府観光局（JNTO）国際会議統計

## 第5章 参考資料

### 1 観光施設の利用状況

#### (1) 主な観光施設利用者数

(単位：人)

施設名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前年度比
円山動物園	609,614	700,558	923,503	832,419	791,754	95.1%
モエレ沼公園	778,210	813,820	829,787	792,694	666,050	84.0%
サッポロさとらんど	870,170	531,096	568,503	589,960	647,010	109.7%
滝野すずらん丘陵公園	624,850	588,237	571,242	600,562	593,616	98.8%
白い恋人パーク	191,155	338,345	359,513	394,607	374,080	94.8%
札幌市青少年科学館	351,645	342,258	328,168	358,112	373,619	104.3%
羊ヶ丘展望台	396,963	385,960	359,936	357,293	344,414	96.4%
大倉山ジャンプ競技場	474,295	440,808	427,674	346,658	342,171	98.7%
札幌芸術の森	388,888	446,503	356,219	415,908	322,289	77.5%
北海道庁旧本庁舎	445,028	411,849	363,074	391,724	317,284	81.0%
テレビ塔展望台	443,879	408,334	359,975	343,934	306,761	89.2%
JRタワー展望室 T38	286,740	269,199	249,358	285,589	242,879	85.0%
北海道立近代美術館 ※1	366,280	230,487	236,321	221,215	202,344	91.5%
時計台	206,661	198,636	171,751	180,076	167,122	92.8%
サンピアザ水族館	120,108	123,856	137,963	130,124	143,392	110.2%
札幌市資料館	148,717	138,655	142,863	132,167	134,761	102.0%
サッポロビール博物館	146,909	142,762	148,473	153,278	130,605	85.2%
藻岩山 ※2	520,857	493,247	479,195	0	126,327	-
北海道開拓の村	166,344	144,219	140,596	131,879	121,470	92.1%
観覧車NORIA	202,590	151,710	120,600	111,500	107,650	96.5%
北海道大学総合博物館	89,042	62,701	69,646	104,661	105,583	100.9%
北海道開拓記念館	95,246	84,643	67,889	81,942	98,101	119.7%
札幌ウィンタースポーツミュージアム ※3	108,922	99,114	86,701	64,165	89,676	139.8%
豊平川さけ科学館	84,603	89,442	84,916	74,421	74,509	100.1%
豊平峡	81,151	83,264	74,856	74,062	67,259	90.8%
札幌ドーム(ドームツアー、展望台等利用者)	66,246	58,941	61,867	59,302	50,351	84.9%
札幌市下水道科学館	35,788	34,342	37,930	43,254	48,890	113.0%
札幌市アイヌ文化交流センター	40,174	51,044	47,035	47,586	46,810	98.4%
オートリゾート滝野	50,350	52,560	50,282	47,954	46,625	97.2%
北大附属植物園	58,859	57,093	45,094	46,515	42,968	92.4%
北海道立文学館	30,023	28,551	42,325	49,040	40,834	83.3%
宮の森ジャンプ競技場	27,979	36,212	37,755	28,304	29,007	102.5%
雪印メグミルク 酪農と乳の歴史館	25,836	21,819	20,268	23,466	18,358	78.2%
定山溪自然の村	14,637	16,626	17,520	17,475	16,270	93.1%
エリエールスクエア札幌 渡辺淳一文学館	13,900	11,709	13,799	14,851	13,943	93.9%
八窓庵 ※4	0	3,711	12,101	13,427	13,868	103.3%
豊平館	15,047	16,540	11,922	13,117	12,893	98.3%
本郷新記念札幌彫刻美術館	6,725	6,503	6,894	7,841	8,355	106.6%
清華亭	7,114	10,244	8,930	9,534	7,396	77.6%
旧永山武四郎邸	8,320	6,431	5,375	5,545	6,042	109.0%
エドウィンダン記念館	5,432	6,404	5,634	5,891	5,551	94.2%
琴似屯田兵村兵屋跡 ※5	4,719	4,115	3,949	1,667	4,882	292.9%
札幌村郷土記念館	4,180	4,641	3,578	3,931	4,295	109.3%
札幌市文化資料室	1,027	2,753	2,096	2,006	2,936	146.4%
旧黒岩家住宅	2,510	2,741	2,600	2,662	2,893	108.7%
新琴似屯田兵中隊本部	1,882	1,717	2,041	2,159	2,131	98.7%
北海道鉄道技術館	1,498	1,485	1,695	2,293	1,781	77.7%

※1 23年9月～24年2月上旬まで改修工事のため休館。

※2 22年4月～23年12月下旬まで、ロープウェイ及び展望施設等改修工事のため休業。

※3 22年11月～23年2月上旬まで改修工事のため休館。

※4 17～19年度まで復旧工事のため一般公開なし。20年度は9日間の公開のみ。

※5 22年6月～12月まで改修工事のため観覧休止。

## (2) 主な集客施設観客数

(単位：人)

施設名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前年度比%
札幌コンサートホール Kitara	440,584	441,761	420,361	399,141	<b>386,590</b>	<b>96.9%</b>
札幌ドーム	2,871,479	2,904,458	2,974,296	2,345,955	<b>2,973,294</b>	<b>126.7%</b>

## (3) スキー場リフト利用状況（リフト利用延べ人数）

(単位：千人)

年度	合計	サッポロ テイネ	ばんけい	藻岩山	フッズ スノー エリア	札幌 国際
19年度	8,410	2,898	1,450	1,309	831	1,922
20年度	7,991	2,480	1,459	1,166	808	2,078
21年度	8,034	2,452	1,739	1,291	872	1,680
22年度	7,657	2,359	1,599	1,334	768	1,597
<b>23年度</b>	<b>7,528</b>	<b>2,295</b>	<b>1,510</b>	<b>1,337</b>	<b>845</b>	<b>1,541</b>
前年度比 (%)	<b>98.3%</b>	<b>97.3%</b>	<b>94.4%</b>	<b>100.2%</b>	<b>110.0%</b>	<b>96.5%</b>
23年度 営業期間		12/3 ～5/6	12/8 ～4/15	12/10 ～3/31	12/10 ～3/31	11/23 ～5/6

## 2 定期観光バス利用者数（北海道中央バス）

（単位：人）

コース名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前年度比 (%)	備考
さっぽろ散策バス (路線バス)	37,791	16,189	4,020	28,725	14,977	52.1%	
さっぽろうお〜く (路線バス)	348,838	307,500	297,000	301,000	291,000	96.7%	
<b>&lt;春～秋季&gt;合計</b>	<b>23,899</b>	<b>22,188</b>	<b>22,474</b>	<b>19,935</b>	<b>20,963</b>	<b>105.2%</b>	
2階建てバス 白い恋人 パークと場外市場コース	2,978	4,123	5,014	4,317	4,899	113.5%	※多言語案内ツアー
2階建てバス 大倉山& 羊ヶ丘展望台コース			4,167	4,200	3,873	92.2%	21年4月より運行 ※多言語案内ツアー
札幌1日コース	2,572	2,469	2,093	562	770	137.0%	
春のさっぽろ早めぐりコ ース					300	-	23年4月より運行
夏の札幌市内1日コース				367	709	193.2%	22年6月より運行
秋の札幌・小樽1日コース					272	-	23年9月より運行
すずらんコース	7,994	7,491	5,854	5,658	5,627	99.5%	
夜の札幌コース (大倉山ラムダイニングと 観覧車NORIA)	3,833	3,605	3,247	905	1,403	155.0%	
札幌・小樽早巡りコース (白い恋人パークと小樽運 河散策)			585	1,688	1,959	116.1%	21年5月より運行
札幌おまかせ満腹コース				802	1,151	143.5%	
<b>&lt;冬季&gt;合計</b>	<b>5,725</b>	<b>4,786</b>	<b>6,590</b>	<b>6,976</b>	<b>8,536</b>	<b>122.4%</b>	
2階建てバス 白い恋人 パークと場外市場コース	1,767	2,115	1,916	1,912	2,503	130.9%	※多言語案内ツアー
2階建てバス 午後の札幌 遊覧コース			1,277	1,249	1,314	105.2%	21年12月より運行 ※多言語案内ツアー
ホワイトイルミネーションと大通 公園&大倉山ドライブ	342	461	167	284	228	80.3%	
藻岩山&大倉山冬の夜景コース					923	-	23年12月より運行
大倉山&藻岩山サッポロ★トリッ プ					550	-	24年1月より運行
さっぽろ雪祭り期間限定 大通公園・藻岩山夜景ドライブ					344	-	24年2月より運行 ※多言語案内ツアー
冬の札幌1日コース	523	651	572	461	598	129.7%	
札幌ウィンターストーリー コース	1,610	317	1,036	462	474	102.6%	
冬の札幌おまかせ満腹コ ース			550	603	650	107.8%	21年12月より運行
冬の小樽・札幌早めぐり コース				890	952	107.0%	22年11月より運行

3 北海道さっぽろ「食と観光」情報館・北海道さっぽろ観光案内所利用者数  
(単位:人)

		21年度	22年度	23年度	前年度比
「食と観光」 情報館 入館者数	合計	1,490,579	1,399,370	1,604,587	114.7%
	一日平均	4,084	3,834	4,384	114.3%
北海道さっぽろ 観光案内所 利用者数	合計	154,553	159,830	143,501	89.8%
	一日平均	423	437	392	89.7%
外国人利用者数	合計	30,843	38,487	22,646	58.8%
外国人 利用者数 (国別内訳)  ※職員対応	台湾	1,588	2,338	2,289	97.9%
	韓国	4,411	7,472	4,549	60.9%
	香港	5,166	5,139	3,679	71.6%
	中国	818	1,668	1,040	62.4%
	シンガポール	1,604	2,671	1,511	56.6%
	その他アジア	2,899	3,692	2,012	54.5%
	欧米	8,076	9,054	3,851	42.5%
	オーストラリア (オセアニア)	350	578	905	156.6%
	その他	1,771	1,298	184	14.2%

#### 4 札幌発着航空路線

##### (1) 国内線

平成24年9月1日現在

発着空港	地 方	路 線		航空会社
		都道府県	空 港	
新 千 歳	北 海 道	—	函 館	A N A
			稚 内	A N A
			利 尻	A N A
			女 満 別	J A L A N A
			たんちょう釧路	A N A
			根室中標津	A N A
	東 北	青 森 県	青 森	J A L
		岩 手 県	いわて花巻	J A L
		宮 城 県	仙 台	J A L A N A A D O
		秋 田 県	秋 田	J A L
		福 島 県	福 島	A D O
	関 東	茨 城 県	茨 城	S K Y
		千 葉 県	成 田	A N A J A L S K Y ジェットスター エアアジア
				A N A J A L A D O S K Y
		東 京 都	羽 田	A N A J A L A D O S K Y
	中 部	新 潟 県	新 潟	J A L A N A A D O
		富 山 県	富 山	A D O
		石 川 県	小 松	A D O
		長 野 県	信州まつもと	F D A J A L
		静 岡 県	富士山静岡	J A L A N A F D A
		愛 知 県	中 部	A N A J A L S K Y
	近 畿	大 阪 府	伊 丹	A N A J A L
			関 西	A N A J A L S K Y ピーチ ジェットスター
		兵 庫 県	神 戸	A N A S K Y
	中 国	岡 山 県	岡 山	A N A
		広 島 県	広 島	J A L
	九 州	福 岡 県	福 岡	J A L A N A

発着空港	地 方	路 線		航空会社
		都道府県	空 港	
丘 珠	北 海 道	—	函 館	H A C
			たんちよう釧路	H A C
			女 満 別	H A C
			利 尻	H A C

注) 航空会社欄の ANA は全日本空輸、JAL は日本航空、ジェットスターはジェットスター・ジャパン、エアアジアはエアアジア・ジャパン、ピーチはピーチ・アビエーション、ADO は AIRDO (旧：北海道国際航空)、SKY はスカイマーク、FDA はフジドリームエアラインズ、HAC は北海道エアシステムを示す。

## (2) 国際線

平成 24 年 9 月 1 日現在

発着空港	路 線	航 空 会 社	便 数
新 千 歳	北 京	中国国際航空 (全日本空輸コードシェア)	週 5 便
	大 連	中国南方航空	週 2 便
	グ ア ム	ユナイテッド航空 (全日本空輸コードシェア)	週 2 便
	香 港	キャセイパシフィック航空 (日本航空コードシェア)	週 4 便
	釜 山	大韓航空	週 3 便
	ソウル (仁川)	大韓航空 (日本航空コードシェア)	週 14 便
		K L M オランダ航空	週 7 便
		ジンエアー	週 5 便
	上 海	中国東方航空 (日本航空コードシェア)	週 5 便
	台 北	エバー航空 (全日本空輸コードシェア)	週 7 便
		チャイナエアライン	週 7 便
ユジノサハリンスク	サハリン航空	週 2 便	

## 5 気象概況

(札幌管区気象台発表の数値を基礎に集計)

年 度	気温 (°C)			日照 時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪 量 (cm)	寒暖日数 <sup>1)</sup>			
	平均	最高	最低				真夏日	夏日	冬日	真冬日
平 年 <sup>2)</sup>	8.9	—	—	1,740.4	1,106.5	597	8.0	49.1	124.8	45.0
平成 19 年度	9.2	34.2	-13.2	1,816.4	968.0	427	10	54	122	45
20 年度	9.7	31.4	-9.9	1,749.3	914.0	489	4	58	121	28
21 年度	9.1	31.2	-12.6	1,626.9	1,073.0	484	4	37	124	37
22 年度	9.9	34.1	-10.1	1,653.0	1,324.0	479	20	79	115	34
23 年度	8.9	33.8	-12.1	1,746.5	1,176.5	394	11	65	132	60
平成 23 年 4 月	6.9	18.9	-4.2	164.6	69.5	14.0	—	—	5	—
5 月	11.1	24.4	3.3	158.6	56.5	—	—	—	—	—
6 月	17.3	30.3	7.0	164.6	43.0	—	1	9	—	—
7 月	21.8	30.8	14.0	170.2	129.0	—	1	19	—	—
8 月	23.6	33.8	16.8	214.4	109.0	—	8	28	—	—
9 月	19.2	32.0	9.8	127.4	257.5	—	1	9	—	—
10 月	12.1	20.7	3.7	129.9	146.0	—	—	—	—	—
11 月	6.0	17.7	-5.5	116.5	86.0	32.0	—	—	9	1
12 月	-2.0	7.7	-9.6	91.4	107.0	106.0	—	—	30	13
平成 24 年 1 月	-4.5	3.3	-11.5	131.5	71.5	99.0	—	—	31	23
2 月	-4.4	4.8	-12.1	133.8	57.0	81.0	—	—	29	19
3 月	0.1	14.4	-10.0	143.6	44.5	62.0	—	—	28	4

1) 真夏日とは最高気温が 30.0°C 以上の日、夏日とは最高気温が 25.0°C 以上の日、冬日とは最低気温が 0.0°C 未満の日、真冬日とは最高気温が 0.0°C 未満の日をいう。

2) 昭和 56 年 (1981 年) から平成 22 年 (2010 年) までの平均値。

## 6 札幌観光のあゆみ

年 度	沿 革
大正 11(1922)年度	市制施行。
昭和 2(1927)年度	公会堂として豊平館新館完成。
6(1931)年度	大倉山シャンツェ竣工。
11(1936)年度	札幌観光協会設立。
12(1937)年度	札幌－東京間定期航空開始。
21(1946)年度	定山溪観光協会設立。
24(1949)年度	第 1 回さっぽろ雪まつり開催。
26(1951)年度	円山動物園開園。
28(1953)年度	札幌－千歳間（国道 36 号線）弾丸道路舗装完成。
29(1954)年度	第 1 回さっぽろ夏まつり、第 1 回狸まつり開催。
32(1957)年度	テレビ塔完成。藻岩山観光自動車道完成。
33(1958)年度	もいわ山ロープウェイ営業開始。豊平館、中島公園内に移築。
34(1959)年度	第 1 回さっぽろライラックまつり開催。ポートランド市と姉妹都市提携調印。羊ヶ丘展望台開設。さっぽろ夏まつりのビアガーデンを初めて開催。
35(1960)年度	市民の投票により札幌の花（スズラン）、木（ライラック）、鳥（カッコウ）を決定。
38(1963)年度	第 1 回さっぽろ菊まつり開催。
40(1965)年度	第 1 回定山溪かっぱ祭り開催。第 1 回すすきの祭り開催。
45(1970)年度	時計台が重要文化財に指定される。90m級大倉山ジャンプ競技場完成。
46(1971)年度	第 11 回冬季オリンピック大会開催。北海道開拓記念館オープン。
47(1972)年度	政令指定都市へ移行し、7 区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携調印。豊平峡ダム完成。
48(1973)年度	札幌市資料館オープン。札幌観光協会社団法人化。
53(1978)年度	「札幌の観光（観光白書）」発行開始。「カッコウの窓口」開設。すすきの観光協会設立。緑のセンター開設。
54(1979)年度	25 年ぶりに豊平川にサケ遡上。冬のスポーツ博物館オープン（～平成 11 年 12 月）。
55(1980)年度	瀋陽市と友好都市提携調印。本市の観光キャッチフレーズ「好きです。Sapporo」がロゴマークとともに決定。
56(1981)年度	青少年科学館オープン。第 1 回さっぽろホワイトイルミネーション開催。
58(1983)年度	北海道開拓の村オープン。百合が原公園開園。
59(1984)年度	第 1 回札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。
60(1985)年度	第 1 回アジア冬季競技大会開催。「国際観光モデル地区」の指定を受ける。
61(1986)年度	'86 さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌芸術の森一部オープン。
62(1987)年度	第 1 回さっぽろ国際フェスティバル開催。サッポロビール博物館オープン。
平成元(1989)年度	「さっぽろ雪まつり」の中島会場を第 4 会場として設置。定山溪ダム完成。はまなす国体開催。円山動物園に「タスマニア館」（現カンガルー館）オープン。厚別・手稲区の誕生により、9 区体制へ移行。
2(1990)年度	ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）初開催。「観光基本計画」策定。ユニバーシアード冬季大会開催。定山溪に「メルヘンかっぱ像」20 体設置。

年 度	沿 革
3(1991)年度	第1回定山溪もみじ大茶会開催。
4(1992)年度	政令指定都市移行20周年記念事業メモリアルコンサート「さっぽろの歌」開催。定山溪観光協会社団法人化。観光客誘致キャンペーン「さっぽろのタベ」(～平成15年度)初開催。第1回YOSAKOIソーラン祭り開催。
5(1993)年度	大通公園(8-9丁目)連続化。第1回さっぽろふれあいフェスタ開催。すすきの観光協会社団法人化。
6(1994)年度	「国際会議観光都市」の認定を受ける。リンケージ・アップフェスティバル初開催。阪神淡路大震災のため「さっぽろ雪まつり」の花火大会などを自粛。
7(1995)年度	円山動物園にキッドランドと熱帯鳥類館オープン。サッポロさとらんど一部オープン。「おおば比呂司記念室」札幌市資料館内にオープン。YOSAKOIソーラン祭り普及振興会設立。札幌市観光産業経済効果調査結果発表。
8(1996)年度	「さっぽろリンクルバス」登場。「石山緑地」オープン。定山溪温泉「健康保養地」宣言。さっぽろホワイトイルミネーション「日本建築美術工芸協会賞 特別賞」受賞。青少年科学館リニューアルオープン。
9(1997)年度	下水道科学館、札幌コミュニティドーム(愛称・つどーむ)、札幌コンサートホール「Kitara」オープン。道央三温泉協議会設立。札幌市営観光バスを廃止。清田区の誕生により10区体制へ移行。
10(1998)年度	YOSAKOIソーラン祭り組織委員会設立。円山動物園「動物センター」、渡辺淳一文学館、定山溪自然の村、モエレ沼公園オープン。さっぽろ夏まつりビアガーデンに地ビール登場。北海道国際航空(エア・ドゥ)就航。
11(1999)年度	さっぽろ羊ヶ丘展望台「羊ヶ丘ウエディングパレス」、北海道立総合体育センター(愛称・きたえる)オープン。
12(2000)年度	大倉山ジャンプ競技場リニューアルオープン。札幌ウィンタースポーツミュージアムオープン。
13(2001)年度	札幌ドーム「Hiroba」オープン。
14(2002)年度	2002 FIFAワールドカップ開催(札幌ドームで3試合開催)。ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 開催。札幌駅南口にJRタワーオープン(平成15年3月)。札幌コンベンションセンター竣工。
15(2003)年度	札幌コンベンションセンターオープン。
16(2004)年度	さっぽろ赤レンガカフェ(～平成19年度)、さっぽろら～めん共和国、千歳鶴ミュージアム・アネックスオープン。サッポロビール博物館リニューアルオープン。
17(2005)年度	さっぽろライラックまつりで「ライラックワインガーデン」開催。第1回藻岩山の日。モエレ沼公園グランドオープン。定山源泉公園オープン。サッポロさとらんどがさっぽろ雪まつりの第2会場に。
18(2006)年度	ノリアオープン。さっぽろスイーツのコンペティションスタート。藻岩山にて、BAR THE ICE 開催。FIS ノルディックスキー世界選手権札幌大会開催。北海道さっぽろ「食と観光」情報館オープン。
19(2007)年度	平岡公園の梅林ライトアップ事業実施(～平成22年度)。「SAPPORO CITY JAZZ」初開催。観光文化情報ステーションオープン。さっぽろ雪まつり大通会場にスケートリンク設置。
20(2008)年度	北海道洞爺湖サミット開催。さっぽろオータムフェスト初開催。観光立国の推進体制強化を目的に観光庁発足。つどーむがさっぽろ雪まつり第2会場に。

年 度	沿 革
21(2009)年度	さっぽろ広域観光圏認定。中国人個人観光客への査証発給開始。新千歳空港国際線旅客ターミナルオープン。
22(2010)年度	東日本大震災発生。大田（テジョン）広域市と姉妹都市提携調印。札幌MICE総合戦略策定。札幌駅前通地下歩行空間開通。札幌ウィンタースポーツミュージアムリニューアルオープン。羽田空港の国際線拡大、国際定期便運行開始。A-netが丘珠空港から撤退。HACの再編が行われる。劇団四季劇場オープン。大通ビッセオープン。
23(2011)年度	道東道の夕張～占冠間が開通し十勝圏へのアクセスが向上、藻岩山展望台・ロープウェイがリニューアルオープン、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート認定、新千歳空港にピーチ・アビエーションが就航、創成川公園オープン、菊まつりのメイン会場を札幌駅前通地下歩行空間へ変更、札幌モーターショー2012開催、第1回真駒内花火大会開催

## 7 平成 24 年度イベントカレンダー

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)
4月	第26回定山溪 温泉溪流鯉のぼり	4月21日(土) ～5月20日(日)	定山溪の溪流に約350匹の鯉のぼりを掲揚する定山溪温泉の春の風物詩。	定山溪 スポーツ公園 ほか	定山溪温泉 旅館組合 598-2537
5月	平岡公園 梅まつり2012	5月1日(火) ～24日(木)	梅の名所として有名な平岡公園で、梅の開花時期に合わせて開催されます。梅にちなんだ商品が多数販売される特設売店などが出店されます。	平岡公園 梅林地区	平岡公園 管理事務所 881-7924
	第54回さっぽろ ライラックまつり	大通公園: 5月23日(水) ～27日(日)	ライラック苗木のプレゼント、記念植樹、ワインガーデン、野だて、喫茶コーナー、音楽隊演奏など、札幌の木ライラックが満開の大通公園の春のイベント。	大通公園、 川下公園	実行委員会 211-3341
		川下公園: 6月2日(土) ～3日(日)			
もいわやまの日	5月31日(木) ～6月3日(日)	標高531mにちなみ、ロープウェイ等の特別割引(大人往復1,700円→1,000円)や無料循環バス(6月2日、3日のみ)、その他多彩なイベントを開催します。	藻岩山	事務局 211-2376	
6月	第35回北海道を 歩こう	6月3日(日)	札幌市南区真駒内からスタートし支笏湖まで33キロを歩くウォーキングイベント。10キロのコースもあります。	真駒内 ～支笏湖	さっぽろ健康 スポーツ財団 530-5562
	第21回YOSAKOI ソーラン祭り	6月6日(水) ～10日(日)	自由で独創的な激しいリズムによって約300チーム、約3万人が乱舞する。飛び入り参加ができるワオドリソーランもあります。	大通公園 ほか	組織委員会 231-4351
	北海道神宮例祭 (札幌まつり)	6月14日(木) ～16日(土)	御輿、山車、露店など、昔ながらのお祭り。「郷土の日」を実感する通称「札幌まつり」です。	北海道神宮、 札幌市内	北海道神宮 611-0261
	花フェスタ2012 札幌	6月23日(土) ～7月1日(日)	農業高校生のガーデニングコンテストやパビリオンでのラン展示、花モニュメントなどで初夏の札幌の街を美しく彩ります。	大通公園	事務局 863-5550
	全国花のまち づくり札幌大会	6月29日(金) ～30日(土)	ガーデンデザイナーの吉谷桂子さんの基調講演をはじめ、全国花のまちづくりコンクール受賞団体による事例発表のほか、交流会、ミニツアー、講習会、体験コーナー、パネル展、現地見学会を行います。	札幌市民ホール ほか	事務局 (札幌市みどりの 推進部内) 211-2522
7月	第55回札幌国際 ハーフマラソン 大会	7月1日(日)	JAAF(日本陸上競技連盟)とAIMS(国際マラソン・ロードレース協会)公認の国際大会で、毎年、海外からの招待選手を含め世界の頂点にいる選手が参加します。	円山競技場発着	さっぽろ健康 スポーツ財団 530-5562
	PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)2012	7月7日(土) ～8月4日(土)	若手音楽家を育成するとともに、音楽教育を通じて音楽文化の普及・発展をめざす国際教育音楽祭。クラシックを野外でのピクニックコンサートなどでも楽しめます。	芸術の森、 コンサート ホールKitara ほか	組織委員会 242-2211

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)
7 月	SAPPORO CITY JAZZ2012	7月7日(土) ～8月23日(木)	大通公園2丁目の「ホワイトロック・ミュージックテント」をメイン会場に、国内外で活躍するプロ・ミュージシャンの迫力のライブを楽しめます。また、市内各所でのプロ・アマのライブなど、気軽にジャズに親しめる様々なイベントを開催します。	大通公園、 芸術の森 ほか	実行委員会 592-4125
	カルチャーナイト 2012	7月13日(金)	普段は夕方まで閉館する文化施設や民間施設で夜間開放を行います。普段はできない貴重な文化体験ができます。	市内全域の 各参加施設	実行委員会 261-8633
	第2回 真駒内花火大会	7月14日(土) ～15日(日)	各日20,000発の花火と照明・炎を、音楽とシンクロさせた花火大会。道産食材を提供する飲食ブースを多数出店します。小学生以上有料です。	真駒内セキスイ ハイムスタジアム	実行委員会 841-8166
	第38回サッポロ 豊平川イカダ下り	7月15日(日)	市民のチームが、手製のイカダで川を流れ下ります。ユニークなイカダやコスチュームでのパフォーマンスが楽しいイベントです。	豊平川 幌平橋下流	実行委員会 事務局 (中央区役所 地域振興課内) 231-2400 内線256
	第3回薄野 おもてなし縁市	7月19日(木) ～21日(土)	地元すすきのの飲食店が屋台を出店し、飲食を提供するとともに、屋外ステージではライブなどの様々な催しが行われます。	すすきの地区 (南6条周辺)	実行委員会 511-7659
	第59回さっぽろ 夏まつり	7月21日(土) ～8月20日(月)	約1ヶ月間、大通公園を会場に、ビアガーデンや、北海盆踊り、さっぽろバザールなど、様々なイベント等で夏を楽しみます。 ビアガーデンは7月21日(土曜日)から8月15日(水曜日)までです。	大通公園	実行委員会 211-3341
	第59回狸まつり	7月21日(土) ～8月20日(月)	さっぽろ夏まつりに併せて行われる、狸小路の夏まつり。歴史ある商店街の情緒ある祭り風情は、とても素敵です。	狸小路商店街	商店街振興 組合 241-5125
	すすきの夜市 & 音楽祭2012	7月25日(水) ～26日(木)	地元のプロ・アマチュアバンドによる屋外ライブステージを開催するほか、産直市やストリートパフォーマンスなどの多彩な催しも実施します。	すすきの地区 (南4条周辺)	実行委員会 211-2692
	豊平川花火大会	7月27日(金)	道新・UHB花火大会	豊平川 南大橋付近	北海道新聞社 210-5732
	モエレサマー フェスティバル 2012	7月28日(土)	モエレ沼公園で初めての花火大会が開催されます。人数制限のため、チケット制となっています。	モエレ沼公園	モエレ夏祭り 実行委員会 375-7271
第9回札幌市長杯 荒井山ジュニア サマー ジャンプ大会	7月31日(火)	小中学生によるサマージャンプ競技を観戦することができます。	荒井山 ジャンツェ	札幌スキー連盟 221-1661	

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)
8月	第48回 すすきの祭り	8月2日(木) ～4日(土)	屋台、花魁道中、みこし渡御、ワゴンセールなど、すすきのが一大イベント会場に。綺麗な花魁は必見です。	すすきの地区	すすきの 観光協会 518-2005
	第30回 札幌市長杯 宮の森サマー ジャンプ大会	8月4日(土)	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	宮の森ジャンプ 競技場	札幌スキー連盟 221-1661
	第13回 札幌市長杯 大倉山サマー ジャンプ大会	8月5日(日)	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	大倉山ジャンプ 競技場	札幌スキー連盟 221-1661
	灯籠流し	8月15日(水)	毎年8月15日の行事。	鴨々川 護国神社付近	妙心寺 511-7634
	2012 北海道マラソン	8月26日(日)	国内外の招待選手と一般ランナーの総勢1万1千人が、札幌市内各地を激走します。夏季では国内最大級のマラソン大会であり、多くの市民ランナーが参加するビッグイベントです。	大通公園発着	北海道マラソン インフォ メーション センター 0120-859-640
	だい・どん・でん! さっぽろ パフォーマンス カーニバル2012	8月31日(金) ～9月2日(日)	札幌駅前通の歩行者天国を中心に、大道芸・アート・音楽のあらゆるジャンルのパフォーマンスが行われます。	札幌駅前通(歩 行者天国)ほか	札幌大通まち づくり株式会社 211-1185
9月	さっぽろタパス 2012	9月2日(日) ～9日(日)	札幌の街の中を回って飲食店などを食べ歩くイベント。ポノタパスというチケット綴りを使って、参加店をめぐり、各店の特色あるタパス(おつまみ)と飲み物を楽しめます。	市内各所	実行委員会 211-1957
	アシリチェップミ (新しい鮭を 迎える儀式)	9月9日(日)	アイヌ民族の伝統行事「新しい鮭迎えの儀式」で、途絶えてからおおよそ100年ぶりに昭和57年から復活しました。	豊平川 南7条大橋上流 左岸河川敷 (南7条西1丁目)	実行委員会 807-0083
	第7回札幌国際 短編映画祭	9月12日(水) ～9月17日 (月・祝)	世界中から作品が集結する国内最大級の国際短編映画祭です。1プログラム(5～8本の短編映画)を90分で観られる他、短編映画のマーケットやセミナーなども開催します。	札幌プラザ2・5 (旧東宝プラザ) ほか	SAPPORO ショートフェスト 実行委員会 817-8924
	さっぽろオータム フェスト2012	9月14日(金) ～9月30日(日)	食をメインテーマとした秋の豊穰祭。北海道・札幌を代表する食・グルメを中心に、道内各地から旬の素材、ご当地グルメを一同に取り揃えます。北海道の秋の実りを満喫できる新しいお祭り。	大通公園	実行委員会 211-3341
	簾舞通行屋 (みすまい つうこうや)まつり	9月30日(日)	札幌市指定文化財・旧黒岩家住宅で催される簾舞地域の交流イベント。	旧黒岩家住宅 (旧簾舞通行屋)	実行委員会 596-2059

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)
10月	第37回札幌マラソン大会	10月7日(日)	ハーフマラソン、10km、車イス5km、ファンペア3km、2kmなど、多彩な種目で気軽に楽しむことができます。	真駒内屋外競技場スタート	さっぽろ健康スポーツ財団 530-5562
	2012さっぽろ菊まつり	10月31日(水)～11月4日(日)	大輪や懸崖など、北海道内の菊愛好家の自慢の力作が札幌駅前通地下歩行空間に大々的に展示されます。	札幌駅前通地下歩行空間	実行委員会 211-3341
11月	さっぽろアートステージ2012	11月10日(土)～12月9日(日)	札幌市の芸術文化月間と位置付け、演劇、ストリートライブ、小中高校生の音楽祭等、文化的事業を集中的に行います。	市内各所	実行委員会 281-7117
	第32回さっぽろホワイトイルミネーション	大通公園: 11月22日(木)～12月25日(火) 札幌駅前通・南一条通: 11月22日(木)～25年2月11日(月・祝)	メインオブジェ、立木装飾など、幻想的なイルミネーションが、札幌駅前通、大通公園、南一条通りを鮮やかに彩ります。	大通公園、札幌駅前通、南一条通	実行委員会 211-3341
	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo	11月26日(月)～12月24日(月)	姉妹都市ミュンヘンのクリスマス市を大通公園に再現します。異国情緒豊かで、本場ドイツのワインやビール、ソーセージなど特産品が味わえます。	大通公園2丁目	実行委員会 211-2032
2月	第33回札幌国際スキーマラソン	25年2月3日(日)	スキーマラソンから歩くスキーまで、様々な種目があり、世代を問わず参加できる大会です。	札幌ドーム周辺	さっぽろ健康スポーツ財団 530-5562
	第64回さっぽろ雪まつり	25年2月5日(火)～11日(月・祝)	今や世界的にも有名になっている、雪国最大のイベント。大小合わせて200基以上の雪氷像が、大通公園やすすきのの会場を堪能できます。雪で出来ているとは思えない精巧な大雪像は、高さ15メートルにも及びます。	大通公園、つどーむ、すすきの	実行委員会 211-3341

※ 日程・イベント名等は予定です。変更・中止の可能性がありますので、ご注意ください。

本書は、ホームページ「札幌の観光行政」内の「観光統計データ  
(<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>)」で公開されます。

平成24年度版 札幌の観光 平成24年10月発行	市政等資料番号	01-J01-12-1148
	広報印刷物登録番号	24-1-48
	関係部局保存期間	1年

編集・発行 札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL (011) 211-2376



さっぽろ市  
01-J01-12-1148  
24-1-48



Welcome to Sapporo

ようこそ

きらめく四季の

札幌へ